

平成29年度東員町教育委員会
事務事業点検・評価報告書

平成30年 7月
東員町教育委員会

目 次

	ページ
I 平成29年度点検及び評価実施方針	1
II 教育委員会の運営状況	2
III 事業の点検評価	
・教育総務課に係る主要事業	6
・学校教育課に係る主要事業	8
・社会教育課に係る主要事業	17
IV 学校（幼稚園・保育園・小学校・中学校）の評価	23
V 評価委員会の意見	24

I 平成29年度点検及び評価実施方針

1 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくため、東員町教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を実施する。

2 点検・評価の対象

平成29年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況

3 点検・評価の方法

(1) 自己点検評価

第5次東員町総合計画を踏まえた平成29年度東員町教育基本方針に基づき、平成29年度の教育委員会の運営状況、事務事業の執行状況について点検・評価を行う。

したがって、平成29年度の東員町教育委員会の全ての運営状況及び事務事業の執行状況について、自己点検評価を行ったものではない。

(2) 学識経験者の知見の活用

東員町の教育に関して、学識経験を有する次に掲げる学識経験者から教育委員会の自己点検評価結果に対する意見を聴き、二次評価・外部評価結果として本書に記載する。

(学識経験者)

氏 名	備 考
小 林 慶 太 郎	四日市大学教授
伊 藤 頼 子	元小学校校長
大 貫 正 博	文化協会会長

(3) 議会への報告及び公表

点検・評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告し、ホームページへの掲載、窓口への備え付け等により公表する。

II 教育委員会の運営状況

1 教育委員会

教育委員会では、5名の委員により毎月定例会議を開催し、教育基本方針をはじめ、条例・規則等の制定や教育予算など重要な案件を審議しました。また、教育委員会の重点施策について調査・研究するため、委員による教育行政視察研修を実施しました。

(1) 委員構成

平成30年3月31日 現在

氏名	住所	役職	備考
岡野 譲治	六把野新田	教育長	
向山 節雄	笹尾東2丁目	職務代理者	元学校長
三貫 納幸	城山1丁目	委員	元PTA役員
伊藤 あさ子	北大社	委員	元学校長
木村 陽一	大木	委員	会社員（保護者代表）

(2) 教育委員会開催状況（定例教育委員会・臨時教育委員会）※詳細は資料編掲載

開催数	審議内容							合計
	条例制定	規則制定	規程制定	要綱制定	予算編成	報告、その他	後援許可	
12	1	2	—	1	4	25	34	69

(3) 委員研修状況

実施日	研修先	研修場所	研修目的	研修内容
8月23日	津市	三重県総合文化センター	県内教育関係者が様々な教育課題の中から共通のテーマのもとに研修を深めることで、県内各市町教育委員会間の連携を深めるとともに、三重県の教育の推進を図る。	講演 文部科学省初等中等教育局教育課程課課長補佐 金城太一氏 テーマ 「初等中等教育の施策の動向」
10月2日 ～10月3日	滋賀県 守山市	守山市立 守山中学校	学校施設の老朽化対策として移転や改築の先進地視察、スポーツ施設の利用者減少の取り組み等の情報交換を行う。	守山中学校（平成28年11月供用） スーパーエコスクール 光【熱を遮り、光を取り入れる工夫】 風【琵琶湖の湖陸風を取込み開放的】 水【雨水ピットを散水、打水に利用】 地【外気を地中を通し、快適な空調】
	滋賀県 東近江市	布引運動公園		布引グリーンスタジアム 市民スポーツの活動拠点で、憩いの場やレクリエーション活動に配慮した公園で地域防災拠点となる防災公園 日本陸上競技連盟3種公認 5,000人収容可能
10月12日	鈴鹿市	鈴鹿市役所	学校や教員の業務が拡大、多様化する中、働き方改革により本来教員が担うべき業務に専念できる環境整備を図る。	講演 文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課課長補佐 鈴木宏幸氏 テーマ 「初等中等教育行政に係る今後の課題等について」

(4) 学校訪問

実施日	実施場所	実施内容
5月23日	城山小学校	学校長から平成29年度取組状況の説明指導・助言を行うと共に、授業の見学や施設状況調査を行いました。
6月20日	笹尾第一保育園・笹尾西幼稚園	園長から平成29年度取組状況の説明指導・助言を行うと共に、保育の見学や施設状況調査を行いました。

2 平成29年度東員町教育基本方針

東員町第5次総合計画に基づき、「みんなが喜び、輝き、幸せを実感できるまち東員」を実現するために、「安心して子育てのできる」「生涯学びのある」「文化の薫る」「人権を尊重する」まちをつくることを目指して、幼児教育、学校教育、社会教育の充実に努め、時代的ニーズと社会の変化を的確にとらえた教育行政の諸事業を推進しました。

また生涯にわたる人間形成の基礎、つまり「生きる力」の土台となる基本的信頼感・自己肯定感・自己有能感を育み、様々な課題を自ら乗り越えていこうとする「意欲」を高めることを目標に、3つの提言として、「書く力」の育成、“運動能力の向上と社会性の育成”、“16年一貫教育プランの実践”を掲げ、取り組みを推進しました。

3 事務局体制

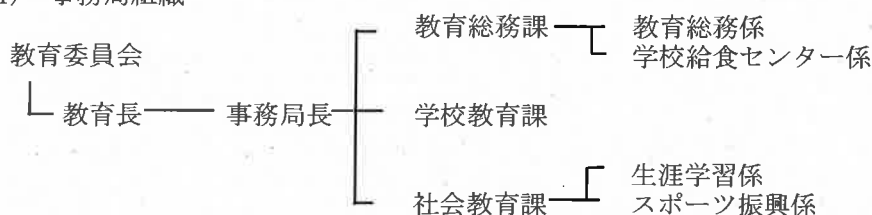
教育行政の推進を図るため、東員町教育基本方針に基づき、諸施策を実施しました。

教育総務課では、教育委員会の会議事務のほか、学校施設の整備・改修や日常の維持管理の他に、学校給食センターの管理・運営を行いました。

学校教育課では、学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的な指導を行うと共に、少人数指導や特別支援教育推進のために人的配置などの諸施策を実施しました。

社会教育課では、文化振興と生涯学習、スポーツの充実に努めるため、各種外郭団体と協働で諸施策を展開すると共に、体育施設の適正管理に努めました。

(1) 事務局組織



(2) 職員数の状況

課名	局長	課長	課長補佐	係長	主任	主事	調理員	臨時職員	合計
教育総務課	1	1	1	2	-	2	-	-	7
学校教育課		2	1	2	-	2	-	2	9
社会教育課		2	1	2	-	2	-	7	14
合計	1	5	3	6	-	6	-	9	30

(3) 外部職員数の状況

幼稚園	園長	副園長	教諭		支援員	計	保育園	園長	副園長	保育士		支援員	調理員	計	幼保合計
			正規	臨時						正規	臨時				
三和	1	(1)	2	1	2	6	みなみ	(1)	1	3	4	0	1	9	15
稲部	1	(1)	3	0	4	8	いなべ	(1)	1	5	7	1	1	15	23
神田	1	1(1)	5	1	11	19	東員	(1)	1(1)	6	8	1	3	19	38
笹尾西	1	1	3	0	2	7	笹尾第一	(1)	(1)	4	5	1	1	11	18
笹尾東	1	1	5	0	4	11	笹尾第二	(1)	(1)	4	5	1	1	11	22
城山	1	(1)	3	0	5	9	しろやま	(1)	1	5	3	3	1	13	22
合計	6	3(4)	21	2	28	60	合計	(6)	4(3)	27	32	7	8	78	138

※ 幼保一体化のため園長・副園長の（ ）は幼稚園・保育園をそれぞれ兼務する。職員は幼保合せて配置調整。

小学校	県費教職員									町費教職員				合計
	校長	教頭	教諭	講師	養護教諭	栄養教諭	学校栄養職員	事務職員	計	非常勤講師	支援員等	用務員	計	
三和	1	1	11	2	1	1	0	1	18	2	2	1	5	23
稲部	1	1	13	2	1	0	0	1	19	1	3	1	5	24
神田	1	1	25	4	1	0	0	1	33	1	8	1	10	43
笹尾西	1	1	10	2	1	0	0	1	16	2	4	1	7	23
笹尾東	1	1	12	1	1	0	0	1	17	4	4	1	9	26
城山	1	1	9	3	1	0	0	1	16	3	2	1	6	22
合計	6	6	80	14	6	1	0	6	119	13	23	6	42	161

中学校	県費教職員									町費教職員				合計
	校長	教頭	教諭	講師	養護教諭	栄養教諭	学校栄養職員	事務職員	計	非常勤講師	支援員等	用務員	計	
東員第一	1	1	22	3	1	0	0	1	29	5	4	1	10	39
東員第二	1	1	19	2	1	1	0	1	26	4	2	1	7	33
合計	2	2	41	5	2	1	0	2	55	9	6	2	17	72

※ 県費教職員

- ①再任用短時間も教諭に含む。
- ②講師は非常勤（初任研後補充、女子体補充は除く。）を含む。ただし、代替（病休・休職・産育休等）の臨時的任用は除く。
- ③養護、学業、事務は臨時的任用を含む。ただし、代替（産育休等）の臨時的任用は除く。

※ 町費教職員

- ①用務員には委託職員（シルバー人材センター）を含む。
- ②非常勤講師のうち9名は県費非常勤と兼務。

(4) 教育予算の推移（歳出）

（単位：千円）

区分	H25（決算）	H26（決算）	H27（決算）	H28（決算）	H29（決算）
学校教育	1,269,580	1,347,111	1,399,437	1,425,387	1,400,827
社会教育	415,979	364,538	335,444	327,858	275,504
合計	1,685,559	1,711,649	1,734,881	1,753,245	1,676,331
町一般会計	7,306,490	7,741,896	7,954,765	7,658,451	7,780,022
教育費割合（%）	23.1	22.1	21.8	22.9	21.5

(5) 指導主事による要請訪問の状況

指導主事2名が、園や学校の研修会や国語の読解力・書く力向上のための研修会等に出向き、活用力を高めるための授業改善に取り組むとともに、子どもの権利条例に関する学習会講師、いじめ対応、16年一貫教育プラン学習会講師など学校教育に関する専門的な指導や助言を行い、教員の指導力の向上や研修の充実を図りました。また、初任者教員への指導・助言を行いました。

指導主所要請訪問回数は学習会も含めて下記の通りです。

区分	幼稚園・保育園	小学校	中学校	合計
要請訪問回数	17	29	5	51

※ 表内の数字は、指導主事2名で訪問した回数を表しています。

II 教育委員会の運営状況

3 事務局体制

(4) 教育予算の推移（歳出）の明細

区	分	H26	H27	H28	H29
学校教育	ファミサポ経費	2,054,419	2,257,201	2,337,582	2,298,732
	保育園費	395,287,701	383,916,144	410,605,062	397,365,134
	教育総務費	165,608,640	178,437,454	176,238,261	151,974,154
	小学校費	177,008,445	186,227,235	174,018,279	192,554,169
	中学校費	75,247,347	106,783,458	102,899,599	96,586,760
	幼稚園費	242,096,583	258,033,659	259,258,645	269,551,079
	学校給食費	289,809,882	283,782,370	300,029,825	291,496,559
	計	1,347,113,017	1,399,437,521	1,425,387,253	1,401,826,587
社会教育	社会教育費	238,065,913	214,175,196	206,533,097	165,178,361
	保健体育総務費	19,076,902	19,997,339	20,850,600	21,068,567
	保健体育振興費	107,392,697	101,271,109	100,474,779	89,256,568
	計	364,535,512	335,443,644	327,858,476	275,503,496

Ⅲ 事業の点検評価

平成29年度教育委員会の主要事業について、教育委員会自らの点検評価は次のとおりです。
なお本町の特徴として、幼保一体教育を実施しており、評価も教育・保育にまたがっております。

教育総務課に係る主要事業

事業名	決算額 職員数	点検・評価
教職員健康管理事務	1,687 千円 0.04 人	学校教諭及び用務員の定期健康診断を実施し、健康の保持・増進を図るとともに、産業医と契約し、過重労働対象者に対する面接指導を行いました。個々の勤務状況等を聞き取り、働き方・生活習慣の改善を提案し、心身のケアを図り、円滑な学校教育の推進に努めました。今年度は、延べ22名の教員に面接指導を実施しました。 また、教育長を筆頭に、校長代表、養護教諭代表並びに教職員代表、町職員等計11名の委員で構成された総括安全衛生委員会では、教職員の健康の確保と快適な職場環境の整備について、協議を行いました。
みなみ保育園給食事務室 空調機取替修繕 しろやま保育園給食配膳室 床面修繕	119 千円 0.01 人 206 千円 0.01 人	保育園では、消防施設及び電気設備、遊具などの保守点検、修繕を行い、園児の安心・安全な園生活の向上を図りました。 また、保守点検による空調機器などの施設修繕と共に、管理備品の修繕などを行いました。
三和小学校 二階屋根改修工事 笹尾西小学校 体育館トイレ改修工事 神田小学校 体育館トイレ改修工事 小中学校体育館 舞台吊物改修工事 笹尾東小・東員第一中学校 老朽化診断業務委託 東員第二中学校 体育館トイレ改修工事	9,422 千円 0.04 人 4,396 千円 0.04 人 5,768 千円 0.04 人 4,353 千円 0.04 人 9,893 千円 0.04 人 7,031 千円 0.04 人	経年劣化で老朽化した施設の改修工事を実施しました。 学校生活における児童の安全確保と快適な学習環境づくりとして、施設の適切な維持管理を行いました。 2校の老朽化診断を実施し、老朽箇所の把握に努めるとともに、順次改修を行います。 平成29年度に、笹尾西小学校、東員第二中学校体育館トイレを和式から洋式便器に改修し避難所としての機能の充実を図りました。 また、体育館舞台の吊物改修を行い安全性の確保に努めました。
笹尾西幼稚園 雨漏り修繕 城山幼稚園 ウッドデッキ修繕 幼稚園・保育園 消防設備修繕	335 千円 0.01 人 659 千円 0.01 人 226 千円 0.01 人	幼稚園では保育園と同様に、消防施設及び電気設備、遊具などの保守点検、修繕を行い、老朽化した遊具や施設を修繕しました。 また、城山幼稚園のウッドデッキが老朽化しささくれなどが発生していることから、取替えを行い園児の安全確保に努めました。

<p>学校給食センター運営事業</p>	<p>291,497 千円 2.8 人</p>	<p>小中学校の児童・生徒や保育園・幼稚園の3歳以上を対象（教職員を含め約3,100食分/日）に、健康で豊かな学校・園生活が送れるよう、栄養教諭の指導により、安全・安心で栄養バランスの採れた豊かでおいしい給食を提供しました。</p> <p>学校給食の賄材料費は、保護者負担となっており、給食費として納入いただいております。また、給食費負担の公平性を確保するため、未納対策においては「未納対策マニュアル」に基づき、口座振替不能者に対しては振替不能通知を送付し、3ヶ月以上の未納者に対しては催告書を送付しました。また、保護者へ電話による納付勧奨や戸別訪問により徴収を行うなど、適切な措置に努めました。</p> <p>平成25年4月から調理業務及び配送・回収業務の民間委託が開始され、調理業務では人員の効果的・効率的配置による正確な調理に加え食材の品質管理や衛生管理が向上し、配送業務においても衛生管理や車両の点検など危機管理が徹底され、安定かつ確実に給食を各学校等に届けることができました。更新時期となる平成27年度には、調理業務につきましてはプロポーザル方式における随意契約、配送・回収業務につきましては一般競争入札において両委託業務とも引続き同じ事業者と契約いたしました。</p> <p>食育、給食指導につきましては、栄養教諭が担当校を決め、児童達が食への興味や関心を持ち、食事の重要性・喜び・楽しさ等を身につけられるように各小中学校と共に計画的な食育等を進めました。また、9月6日には非常食体験給食を保育園、幼稚園、小中学校に対して実施し、3,086名の方に非常食を体験していただきました。</p> <p>給食センターでは、児童が自分たちの食べている給食がどのように作られているかを学ぶため、希望する学校に対して施設見学会を4回実施いたしました。また、教育の一環として、勤労体験学習を行っている小中学校に対しては、児童・生徒の受け入れを行いました。児童・生徒達には、実際に調理室に入って仕事を体験していただき、給食ができるまでの工程について学んでいただきました。</p> <p>施設・設備等の維持管理につきましては、老朽化や経年劣化に伴う修繕等を行い、厨芥処理機の取替工事を行いました。また、老朽化が進んだ給食配送車1台と給食配送用コンテナ3台の買換えを行いました。</p> <p>今後は、給食センターの長寿命化計画を作成し、厨房機器等の更新や建物等の長寿命化を順次行っていく必要があります。</p>
---------------------	-----------------------------	---

学校給食費収納状況

年 度	調定額	収入済額	収入未済額	未納件数	収納率
平成29年度	130,002,344	129,154,874	847,470	69名	99.35%
平成28年度	129,267,913	128,344,608	923,305	65名	99.29%

学校教育課に係る主要事業

事業名	決算額 職員数	点検・評価
保育園運営事業	397,366千円 正職 31人 臨時 32人	<p>保育園では、就労や疾病などにより家庭で十分保育ができない児童を保護者に代わり保育をしています。平成29年度は、保育園に0歳児から5歳児まで計492名(3月31日時点)を受け入れ、3歳以上児では幼稚園児との合同保育を実施しました。</p> <p>各園では、各年齢の発達段階に応じた保育・教育を行い、子どもの健康、健全な成長が保障されるよう努めました。特に乳児期に保護者や保育者との間に生まれる基本的信頼感をしっかりと育むこと、幼児前期では、しつけの中で自律性を育むこと、幼児後期では、遊びを通じて自主性を育むことを第一の目標に掲げながら運営してきました。これは、16年一貫教育プランの保育教育理念に則ったものであり、子どもたちの生きる意欲を高める保育となっています。</p> <p>また、特別な支援を必要とする園児については、保育支援員(計7名)を配置し、個に応じた支援を行いました。ここ数年、支援を必要とする園児が増加傾向にあります。予算の関係上、限られた支援員の数で子どもをみていくため、対象園児と支援員との関係をみながら、一人の支援員で複数の園児をみたり、担任がサポートファイルやCLM研修から得た個別の支援を一斉保育の中で責任を持って行ったりしていく必要があると考えます。</p> <p>土曜日保育は、東員保育園を拠点園として通常の間帯で実施しました。職員配置の面で課題はありますが、3月末時点の登録者は92名ですが、実際に登園する園児数は日によって異なり、1日平均およそ30名となりました。</p>
ALT派遣事業	12,254千円 0.11人	<p>これまでと同様に各中学校に1名、小学校6校を巡回指導する1名のALTを配置し、合計3名で中学校の英語教育及び小学校の外国語活動の充実に努めました。</p> <p>また、学期毎に中学校のALTを各幼稚園・保育園にも派遣し、5歳児を中心に英語に親しむ遊びや活動を行いました。</p> <p>今年度も、いなべ・東員教育支援センター「ふれあい教室」にも2回派遣を行い、生きた英語から遠ざかりがちな生徒達に大変好評でした。</p> <p>中学校の英語科では、教諭とのティームティーチングで授業を行い、リスニング、スピーキングの練習や、会話の練習、英文の添削指導や暗唱指導等を行い、コミュニケーション能力の基礎の育成に取り組みしました。</p> <p>小学校では、5・6年生の週1時間の外国語活動の時間に各担任とALTがティームティーチングを行いました。生の英語の音声や基本的な表現練習を歌やゲームに取り入れて、楽しみながらコミュニケーション能力の素地を養えるよう取り組みました。</p> <p>また、小学校の外国語活動と中学校英語科との円滑な接続が重要であることから、今年度も小中の英語科(外国語活動)担当者会を開催し、小学校間での取組の統一、進度の調整や中学校英語教諭と小学校担当者との交流を図り、疑問点の解消や統一して取り組むべきことの確認を行いました。</p> <p>H32年度から始まる小学校5、6年生の教科の外国語、3、4年生の外国語活動については、東員町では移行期間である平成30年度から全面前倒し実施に向けて、各学年の年間指導計画(3、4年35H、5、6年70H)や、CAN-DOリストの検討、今後の方向性について協議を行いました。</p>

		<p>ALTを活用し、言語活動を工夫することにより、英語を使うことに対し積極的に、生きた英語の習得は勿論のこと、異文化を理解し、協調する姿勢を育成するとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成していきます。また、これから基礎となる4技能（読む・書く・聴く・話す）の育成に向けて、ALTを活用しながら、東員英語テキスト、東員英語検定の作成を行っていきます。</p>																																							
<p>特別支援教育推進事業 (巡回相談員派遣事業)</p>	<p>1,700千円 0.02人</p>	<p>専門的な資格(臨床心理士・特別支援教育士)を持った巡回相談員2名を派遣しました。臨床心理士に、幼稚園・保育園・小学校・中学校へ出向いての巡回指導と、特別支援教育士に教職員や保護者等を対象とした教育相談を実施しました。</p> <p>巡回相談では、園校の気になる子どもの保育や授業での様子を観察し、その子どもに応じた支援のあり方について、担任に助言・指導を行いました。教育相談では、知能検査(WISC-IV)の実施、相談員から保護者や教職員に向け、具体的な支援の方法について助言を行っていただきました。</p> <p>(巡回相談の状況) (人数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内 容</th> <th>幼・保</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>巡回相談</td> <td>29</td> <td>55</td> <td>19</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育相談</td> <td>0</td> <td>76</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>巡回相談</td> <td>26</td> <td>59</td> <td>19</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育相談</td> <td>0</td> <td>71</td> <td>15</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H27</td> <td>巡回相談</td> <td>31</td> <td>49</td> <td>8</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育相談</td> <td>2</td> <td>77</td> <td>7</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>巡回相談や教育相談での助言を基にし、各園校において個別の指導計画を作成し、児童生徒の状況に応じた取り組みを行っています。</p> <p>また、特別支援教育コーディネーターのスキルアップを図るため、年間3回の研修会を行いました。2回は、中学校の事例について考える「事例さかのぼり研修」の研修会を実施しました。講師として町の相談員を招き、事例について児童生徒の困り感とその要因を探り、発達段階に応じた支援の方法を考え合いました。残り1回は、三重県教育委員会特別支援教育課の指導主事を招へいし、「個別の指導計画の作成方法」について、講義を受け、実際に計画を立てる演習を行いました。保護者支援や個別の対応など、具体的な支援について学んだことで各園校で実践につなげることができ、児童生徒の困り感を軽減することができました。</p>	年度	内 容	幼・保	小学校	中学校	その他	H29	巡回相談	29	55	19	—	教育相談	0	76	1	—	H28	巡回相談	26	59	19	—	教育相談	0	71	15	3	H27	巡回相談	31	49	8	—	教育相談	2	77	7	—
年度	内 容	幼・保	小学校	中学校	その他																																				
H29	巡回相談	29	55	19	—																																				
	教育相談	0	76	1	—																																				
H28	巡回相談	26	59	19	—																																				
	教育相談	0	71	15	3																																				
H27	巡回相談	31	49	8	—																																				
	教育相談	2	77	7	—																																				
<p>特別支援教育推進事業 (学習支援員活用事業)</p>	<p>30,775千円 0.02人</p>	<p>学習支援員を小中学校に合計29名(前年度より1名増)配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒を中心に、他の支援が必要な児童生徒に対しても、クラス担任や特別支援教育コーディネーター等と連携しながら、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行えるよう努めました。</p> <p>支援が必要な児童生徒が増えていることから、コーディネーターによる日々の支援員の適切な配置と、個に応じた効果的な支援ができるよう取り組みました。引き続き、より充実した特別支援教育が実施できるよう、個別作成のサポートファイルをもとに、保護者、担任、支援員の連携を充実させていきます。また、より専門的な知識をもとに支援できるよう、事前アンケートを行い支援員が困ったり、悩んだりしていることをリサーチしながら、充実した研修も企画していきたいと考えています。</p>																																							

学力向上推進事業
(学力調査活用事業)

3,481千円
0.05人

児童・生徒の学力の定着状況を把握するために、総合学力調査（I R T）を実施しました。対象学年及び教科は以下のとおりです。

【4月】

小2, 3 : 国・算
小4, 5 : 国・算・理
小6 : 社
中1 : 国・数・社・理
中2 : 国・数・英・理
中3 : 国・数・英・社・理

【11月】

小1, 2, 3 : 国・算
小4 : 国・算・理
小5, 6 : 国・算・社・理
中2 : 社

調査結果を各校で分析し、授業改善に生かしたり、個人票をもとに個別の補習対応を行ったりしました。調査結果は以下のとおりです。数値は平均点で（）内の値は全国平均を100とした場合の達成率となります。

【小1】 11月 全国 / 東員町 (達成率)
国語 : 64.6 / 72.5 (112.2%)
算数 : 69.3 / 77.7 (112.1%)

【小2】 4月
国語 : 71.8 / 75.7 (105.4%)
算数 : 82.0 / 82.8 (101.0%)
11月
国語 : 71.8 / 71.8 (100.0%)
算数 : 82.0 / 82.0 (100.0%)

【小3】 4月
国語 : 80.9 / 85.7 (105.9%)
算数 : 78.0 / 82.1 (105.3%)
11月
国語 : 43.9 / 46.8 (106.6%)
算数 : 61.2 / 67.1 (109.6%)

【小4】 4月
国語 : 59.6 / 65.1 (109.2%)
算数 : 61.7 / 69.2 (112.2%)
理科 : 64.8 / 72.2 (111.4%)
11月
国語 : 55.2 / 62.7 (113.6%)
算数 : 60.4 / 69.5 (115.1%)
理科 : 60.9 / 71.0 (116.6%)

【小5】 4月
国語 : 63.3 / 67.5 (106.6%)
算数 : 56.8 / 65.6 (115.5%)
理科 : 56.8 / 57.6 (101.4%)
11月
国語 : 54.8 / 60.5 (110.4%)
算数 : 49.0 / 59.6 (121.6%)
社会 : 60.9 / 67.3 (110.5%)
理科 : 60.6 / 67.1 (110.7%)

【小6】 4月
社会 : 71.2 / 75.1 (105.5%)
理科 : 65.9 / 69.2 (105.0%)
11月
国語 : 60.4 / 67.0 (110.9%)
算数 : 58.5 / 65.2 (111.5%)
社会 : 64.0 / 70.7 (110.5%)

理科 : 64.7 / 69.7 (107.7%)

【中1】 4月

国語 : 57.7 / 62.1 (107.6%)
 算数 : 57.5 / 62.3 (108.3%)
 社会 : 56.4 / 57.2 (101.4%)
 理科 : 64.4 / 63.8 (99.1%)

【中2】 4月 全国 / 東員町 (達成率)

国語 : 61.9 / 64.7 (104.5%)
 数学 : 57.5 / 62.3 (108.3%)
 英語 : 64.2 / 66.3 (103.3%)
 理科 : 55.1 / 50.2 (91.1%)

11月

社会 : 62.2 / 57.0 (91.6%)

【中3】 4月

国語 : 64.2 / 64.8 (100.9%)
 数学 : 59.2 / 57.7 (97.5%)
 英語 : 57.3 / 58.9 (102.8%)
 社会 : 61.7 / 57.1 (92.5%)
 理科 : 58.6 / 57.1 (97.4%)

ここ数年、小学校は、毎年安定した結果となっています。特徴的なところでは、小学校1年生の結果が突出していることです。乳幼児期の親子の関係の中で基本的信頼感、自律性、自主性をしっかりと育んできた成果かどうかを今後、調査したいと思っています。課題としては、依然中学校の理科、社会の結果は、全国平均を下回っております。教師の話を聞き、板書をノートやプリントに書き取ることが中心の授業、入試問題等のテストでは覚えた知識や技能をいかに速く、正確にアウトプット出来るようにすることを重視した授業からの脱却が必要です。つまり、知識や技能の習得だけでなく、新しく定義づけられた、知識・技能を活用する様々な力（思考力・判断力・表現力等）や、主体的に学習する態度を育むための学習形態を意識した授業づくりが急務であり、県とも連携しながら、積極的に指導助言を行っていきたいと考えます。

学力向上推進事業
 (少人数教育推進事業)

18,715千円
 0.02人

小中学校に少人数指導、教科指導等を行うための非常勤講師を配置しました。小学校では県費非常勤講師と組み合わせて、算数を中心に習熟度別指導、チームティーチング等を行いました。中学校では定数配置が不可能な教科を中心に任用し、持ち時間の調整を行い県費の非常勤講師と組み合わせて、数学、英語を中心にチームティーチング等を行いました。

〈少人数加配の状況〉 4.1現在

校種	定数	県非常勤	町非常勤
小学校	6名	4名	8名
中学校	1名	2名	7名

※初任研関係非常勤講師は除く
 ※人数は辞令上の延べ人数

小学校では、過密単学級が多いという状況の中、きめ細やかな指導を行うことができるように講師の配置を行う条件整備が極めて重要です。国での学級編制基準の見直しや教員の増員が見込めず、県の財政事情から加配も厳しい状況の中で、この事業はますます重要です。

また、中学校において、美術、音楽、家庭科等の定

		<p>数配置が不可能な教科や国際化対応講師が必要であることから、この事業が必要不可欠になります。</p> <p>これまでそれぞれの学校でD層10%未満を目標にしながら授業改善や効果的な少人数教育を実践・研究してきた結果、学力調査での結果にも成果が現れています。実際に子どもたちからは、少人数授業は「分かるまで教えてもらえる」「ペアやグループで考えることが楽しい」「難しい問題を解くことが楽しい」という声も増えてきています。今後も、通常授業の改善は勿論のこと、子どもたちに力をつけるには、授業の課題設定が重要であることを再認識し、より効果的な少人数指導について研修を進めていきます。</p>
学校図書館支援事業	5,211千円 0.01人	<p>1 専門員の勤務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日6時間勤務 ・小学校→72日勤務（週2日） ・中学校→36日勤務（週1日） <p>2 主な業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『読書登山』の取組推進 ・子どもたちが行きたくなる図書室の環境づくり ・授業支援として、読み聞かせ、課題図書の紹介と読書感想文の書き方指導等 ・図書委員会活動の支援 ・読書登山ブックリスト（小3→中3）第2版の作成 <p>3 貸出冊数の推移</p> <p>2011年度→ 9,337冊 2012年度→17,885冊(前年度比+91.5%) 2013年度→20,570冊(前年度比+15.0%) 2014年度→24,214冊(前年度比+17.7%) 2015年度→24,534冊(前年度比+1.3%) 2016年度→26,687冊(前年度比+8.7%) 2017年度→31,634冊(前年度比+18.5%)</p> <p>貸出冊数は伸びていますが、中学校の生徒の読書離れが見られます。今一度、中学校の朝読書の実施を徹底させ、読書を始めるきっかけ作りとしていきたいと考えます。</p>
16年一貫教育プラン 実践事業	1,251千円 0.03人	<p>本プランは5年目になり、次の取組を重点的に展開しています。</p> <p>①保護者や地域とともに子育て、保育、教育を！ 昨年度同様、保護者への本プランの理念や、子育てのポイントやコツを伝えていくという第3段階に入っています。平成27年度に作成しました「16年一貫教育プラン（子育ての手引き版）」をもとに、保護者対象の子育て学習会は積極的に開催しました。また、胎児期の保護者対象の取組として、今年度は新たに、健康づくり課と連携し、マタニティ教室へ指導主事が出向き話をしました。また、社会福祉協議会と連携し、民生委員や主任児童員の方々を対象に、子育てに関する学習会を行いました。</p> <p>②乳幼児期の愛着形成を図るために！ 親子の充実した時間づくりのきっかけとなるよう全園で、「親子で読み聞かせ講演会」「親子外遊び研修会」「親子サッカー教室」「食育講演会」「親子クッキング」を実施しました。参加した保護者からは、「我が子と一緒に楽しく過ごすことで、家族みんなが幸せな気持ちになりました」等、あたたかい感想が多数寄せられました。</p> <p>③自己肯定感、自己有能感を育むために！ 小学校では確かな学力の向上として、小学校向けの「東員町国語テキスト」を使って、全児童が国文法を中心に学習しました。その結果、全児童が東員町学び</p>

		<p>検定に合格し認定証を手に入れました。この検定には、町民の方々も36名が参加しました。みんなと一緒に頑張って取り組むこと、その結果、みんなが合格する喜びを味わうことが、達成感と次への意欲となっています。</p> <p>④勤勉性を育みながら体力向上を！ 健やかな身体づくりの取組として「東員なわとび検定」を実施しました。5年間継続して取り組んできた成果として、全国体力・運動能力調査において、中学校が初めて男女ともに全国平均を上回りました。また、勤勉性につながる姿として、異学年同士で、難しい技を教えたり教えられたりする子どもたちの姿も多く見られるようになってきました。</p>
<p>特色ある学校づくり事業</p>	<p>1,800千円 0.02人</p> <p>※ 小学校 200千円 中学校 300千円</p>	<p>地域や子どもたちの状況に応じた学校独自の教育を支援するため、特色ある学校づくり事業を推進しました。各校が専門講師や地域の方を招へいしたり、長年続いている伝統的な行事を推進しました。</p> <p>《各校ごとの主な特色ある取り組み》</p> <p>【三和小】 『確かな学力を育成する教育推進授業』では、子どもたちに確かな学力をつけるために、「関わり合い、高まり合う授業の創造」を目標とし、「説解力」と「書く力」の育成を目的とした授業づくり研究を推進してきました。年間12回の授業研究会を実施し、そのうち4回を三重大学の守田教授に指導していただきました。2学期に実施したIRT学力調査では、国語の平均到達スコア（全国を100とした場合の偏差値）の全校平均は106で、D層の割合（全校平均）は9.6%でした昨年度のD層の割合（全校平均）は14.7%でしたので、昨年度と比較するとD層の割合（全校平均）は5.1ポイントも減少しました。今年度、「関わり合い、高まり合う授業を創造し、確かな学力を身につけるための授業研究」を推進してきたことが大きな成果につながったと考えます。</p> <p>【稲部小】 『学力・指導力推進事業』では、昨年に引き続き、三重大学教育学部守田教授を講師にお招きし、年間4回の研修会を行ないました。今年度の取り組みのテーマは「並行読書」を効果的に生かした国語科の授業づくりで、教材の読み取りの中で関連した読書本（関係する解説本、図鑑、同じ作者の本テーマが類似する本など）を紹介することで、教材に書かれている内容をより深く豊かに読み取る力を育成することができました。例えば、様々な働きを持つ自動車、いわゆる働く車の説明文に取り組んだ時、図鑑を用いて教科書の文に倣って紹介文を書くという学習に取り組んだ子どもたちの興味関心は、教科書の域を超え様々な興味関心を広げることで、教材と向き合い情報を発信する機会を得ることができました。</p>
		<p>【神田小】 『豊かな人間性を育てる体験活動推進事業』では、地域の先人達のすばらしい工夫と知恵が凝縮された「神田用水」や伝統行事としての「石取り祭り」や「獅子舞」などの伝統的な行事、その他、手話・点字・洋裁・編み物・座布団づくり・平和学習など多くの方から様々なことを学ぶことができた。また、教科と関わって各学年で栽培活動に取り組んだ。栽培活動した作物を調理し、実りの喜びを味わうと共に、保護者や日頃お世話になっている方々とふれあう機会を持つこ</p>

とで、人との触れ合いを共に感じることができました。

【笹尾西小】

『心を育む教育推進事業』では、対話力の育成と関係のある人と関わる力をつけるために、日常の学習場面における友達との学び合いだけでなく、ゲストティーチャーから学ぶ機会を設けた。ゲストティーチャーからの一方的な情報の伝達ではなく、体験活動を取り入れて実感したものをもとに直接疑問を投げかけたり、体験指導を受けたりする中で学校外の人との関わりを持つことができた。特に「笹尾西小応援隊」と称して、地域の皆さんに家庭科のミシン指導などの裁縫実習や、昔の暮らし体験での昔の遊びや生活の様子など、実演を交えながら支援をいただいた。5年生の餅つきにも地域の方の応援をいただきながら、日頃お世話になっている地域の皆さんや読み聞かせボランティア、ゲストティーチャーの皆さんと交流を深めることができた。

【笹尾東小】

『地域に開かれた学校づくりを推進する中で豊かな人間性を育てる環境づくり事業』では、それぞれの学年が1年間の活動の中で大切にしてきたことや、1年間かけて作り上げてきた学年集団の力を保護者や地域の人に伝える発表会を行なった。地域の方や学校安全ボランティア、ゲストティーチャーの方にそれぞれの学年が招待状を送り、参観していただいた。インフルエンザ罹患により3週間延期になったにも関わらず、たいへん多くの方に参観していただくことができ、地域・保護者のみなさんに「取り組みを通して、子どもたちを育てる」という姿勢を子どもたちの一生懸命な姿を見ることで、理解していただき、たくさんの方から、あたたかい言葉や感謝の言葉をいただくことが出来ました。

【城山小】

『みんなで育てる教育推進事業』では、学習活動及び学校行事で地域の方を講師にして学ぶと共に、学校教育活動の様子を地域・保護者にお知らせしました。また、あいさつの輪を子ども・保護者・地域に広げる活動を行なった。全校の取組としては、城山地区「シニアクラブ」の方々に、平和学習の講師として御越しいただき、戦中戦後の生活の様子を語っていただいた。戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の大切さについて学んだ。4・5・6年生のクラブ活動では、東員町在住の方に来ていただき、絵手紙クラブや卓球クラブ、ダンスクラブでご指導いただいた。また、5年生は城山地区老人会「シニアクラブ」の方々にランドゴルフを教えてください、お互いの交流を深めることができました。

【東員一中】

『心とむ学校環境づくり・ボランティア活動推進事業』では、生徒一人一人が明るく心やすらぐ学校生活を送ることができるよう自発的な活動を推進しました。生徒会福祉委員会の清掃活動を充実させる取り組みや3年生の卒業に向けての奉仕作業などにより、環境整備・美化の意識を向上させることができました。昨年度から、4人の地域ボランティアさんに定期的な活動をしていただき、庭木の剪定・草刈り・さな板の修繕など、環境美化・整備を進めることができた。また、吹奏楽部によるボランティア演奏会をいずみ文化祭、イオンサマーコンサート、ジョイントコンサート等、計7回行った。演奏会の依頼も年々増えており、取り組みの成果を感じる事が出来た。

		<p>【東員二中】</p> <p>『落ち着いた学校文化の創造と確かな学力の育成事業』では、今年度もアクティブラーニングの考えを取り入れ、「仲間と関わり合い、主体的に課題に向き合う生徒の育成〔私らしさが溢れる授業づくり～関わり合い、学び合う集団を目指して～〕」を目標として、自分たちの思いを発表し合い、分からないことを教え合う取り組みをしました。公開授業後の研修会では、各クラスともその取り組みの中で生き生きとした生徒の表情が見られ、目標どおり私らしさが溢れる学びであったと、参観していただいた方々よりお言葉をいただくことができました。</p>
東員町いじめ問題対策事業	157千円 0.02人	<p>【東員町いじめ問題対策連絡協議会】</p> <p>委員の構成は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県北勢児童相談所長 ・法務局桑名支局長 ・いなべ医師会代表 ・三重県いなべ警察署生活安全課長 ・東員町校長会小学校会長 ・東員町校長会中学校会長 ・東員町社会福祉協議会長 ・東員町青少年育成町民会議会長 ・東員町主任児童委員会代表 ・東員町人権擁護委員会代表 <p>第1回では、平成28年度の国の問題行動等調査の結果と、開催時点でのいじめの発生状況等について報告しました。また、稲部小学校のいじめ防止に関する取り組みについても詳しく教頭より報告がありました。</p> <p>第2回についても、「いじめ」の発生状況等と、長期化している事案3つについて詳細を報告しました。</p> <p>また、東員第一中学校のいじめ防止に関する取り組みについて報告しました。</p> <p>【東員町いじめ問題調査委員会】</p> <p>委員の構成は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皇學館大学名誉教授 ・三重くわな法律事務所 弁護士 ・北勢病院精神科医 ・臨床心理士、学校教育巡回相談員 ・元小学校長、教職員指導力向上対策指導員 ・元幼稚園長、民生委員 <p>会では、平成29年度の東員町のいじめ問題について状況報告を行うと共に、長期化している3つの事案について、貴重なご意見等をいただきました。教えていただいたアドバイスを着実に実行することで、さらなる深刻化を防ぎ、最終的には解消に導くことができました。</p>
幼稚園運営事業	269,552千円 正職 30人 臨時 2人	<p>幼稚園は、学校教育法に基づく「学校」として、小学校以降の学習生活の基盤を培う重要な役割を担っています。特に、3歳以降の幼児期後期においては、自分で考え行動することを覚える時期であり、遊びを通じて自主性を育てていかなければなりません。自ら選んだ遊びを通じて子どものやろうとする気持ちを大切に、未知なるものへの自発的な探求心を育み、目的を持って積極的に取り組む力をつけるための教育・保育に取り組みました。</p> <p>また、特別な支援が必要な園児には、保育支援員28名を配置し、個に応じた支援を行いました。その他にも小学校へのスムーズな接続をするため、集団を意識した全体活動を大切にしています。幼保一体化施設と各園が小学校と隣接しているという利点を生かしながら、幼保小の連携も充実させてきました。</p>

<p>総勤務時間の縮減に係る取組</p>		<p>【幼稚園・保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務量の削減(個人ノートの簡素化等) ・環境整備、教材準備時間の削減(保護者協力) ・定時退園日の設定(週1回) ・休暇取得日数増加の取組(目標：前年比3日増) <p>【小学校・中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議時間の短縮(目標：60分以内) ・定時退校日の設定(毎金曜日) ・休暇取得日数増加の取組(目標：前年比2日増) ・時間外労働時間の縮減(目標：月4H以上削減) ・学校閉庁日の設定(目標：前年比2日増) ・郡市中学校部活動検討会議の開催 (部活動に係るガイドラインの作成)
----------------------	--	--

社会教育課に係る主要事業

事業名	決算額 職員数	点検・評価
人権・青少年育成事業 (社会教育諸経費)	5,755千円 0.60人	人権教育推進事業では、町民が「人権」に触れる機会として人権週間に合わせて、町民課と共催で人権標語コンクール表彰式と人権に関する映画の上映を開催しました。また、町民課と共同で人権講座・人権講演会を一般の方を対象に実施しました。さらに、青少年育成町民会議やガールスカウト、子ども会活動、文庫活動に対し補助金の交付を行い、目的達成のための一助としました。

人権教育

事業名	実施日及び会場	事業内容	入場者 (人)
人権教育・青少年育成推進事業	平成29年12月2日(土) ひばりホール	映画「はなちゃんのみそ汁」の上映 毎朝、早起きしてみそ汁をつくること。 それが癌で逝った33歳の母親と5歳の娘の「約束」 だった。生きることは食べること。生きる力に心を揺 さぶられる、家族の物語。	487
人権講座・講演会	平成29年6月24日(土) 講習室 (文化センター内)	講師：松井 真理子氏 「東員町人権が尊重されるまちづくり条例」制定に向 けて、改めて「人権を尊重する」という意味や町と個 人の責務や役割分担を学ぶ機会としました。	75

< 青少年の育成 > (青少年育成町民会議)

(1) 企画事業

① 育成啓発看板の製作・掲示

平成27年度から「あいさつ」を進める絵看板を製作するため、町内および小・中学校に絵画の募集を行い、平成29年度は18点の作品が寄せられ、27枚の看板を作成しました。設置目標は3年間で80枚で、累計97枚の看板を設置し、計画目標を達成しました。

(2) 家庭教育活動

① 第31回子育てのつどい

11月23日(木・祝)、東員町役場西庁舎201・202・203会議室で、講演会及び分散会を開催しました。「一緒に考えよう! 子どもの権利のこと」と題した講演会は、子ども家庭課が主導して行い、その後の分散会は家庭教育部会が主導して行いました。
(参加54人)

② 第36回町民歩け歩こう大会

10月9日(月・祝)総合文化センターを出発し、鳥取神社、八幡神社を經由し、いなべ公園で昼食をとり、楚原駅までの約7.5kmの道のりを歩くコースで実施しました。
(参加124人)

(3) 青少年の自主・自立と社会参加活動の推進

① 第24回青少年の主張

12月2日(土)総合文化センターひばりホールで開催。今年は、小学生7人、小学生グループ2組、中学生3人が発表を行いました。当日は中学生の実行委員が司会進行を行い、一連の企画・運営にも参加して、社会性を高める機会となりました。
(入場者487人)

(4) 非行防止と環境浄化活動の推進

① パトロールの実施

年間を通して、青少年の非行を未然に防止し住民の意識高揚を図ることを目的に夜間パトロールを実施し、延べ304人が参加しました。

・ 神田校区 40人 ・ 稲部校区 57人 ・ 三和校区 61人 ・ 笹尾校区 77人 ・ 城山校区 69人

(5) 健全育成啓発活動の推進

①街頭啓発活動の実施

啓発チラシや標語入り啓発物の配布、声かけなどを行い、「第3日曜日は家庭の日」のPR及び青少年健全育成への協力と意識の高揚を図りました。(延べ23人参加)

今年度は10月15日(日)商工祭(中部公園地内)、10月22日(日)町民体育祭(陸上競技場内)11月18日(土)ピアゴ東員店において、啓発活動を行う予定であったが、いずれも雨天のため中止となりました。

7月23日(日) カネスエ東員店等

3月11日(日) カネスエ東員店等

②広報いくせいの発行

第45号を発行し1年間の活動を町民にお知らせしました。

<ガールスカウト活動> (三重県第12団)

ガールスカウトは、少女と若い女性が心身ともに健康で、人に役立つことに幸せを感じることができるように成長することを目的としており、本町では毎月2~4回各種集会活動や野外活動を行っています。また、町行事への参加は下表のとおりです。

年 月 日 (曜日)	事業名	内容等
平成29年 9月24日 (日)	とういんわくわくフェスタ	バザー活動
平成29年10月15日 (日)	町 商 工 祭 (雨天中止)	バザー活動

事業名	決算額 職員数	点検・評価
成人式事業 (成人式経費)	624千円 0.33人	公募により組織しました新成人による成人式実行委員会が、自らの成人式を企画・運営したことで、まとまりのある成人式を開催することができました。 開催日 平成30年1月7日(日) 対象者 265 人 出席者 202 人 (出席率 76.23 %)
文化事業 (イベント経費) (公演委託料)	24,649千円 0.48人 ※入場料収入 4,541千円	東員町子ども歌舞伎公演や東員「日本の第九」演奏会など、町の伝統文化を継承して開催。更には本町に纏わるものを題材とした東員町発ミュージカル第5弾「天高く馬跳ぶ春」を開催しました。

事業名及び委託料 (円)	実施日	公演内容	入場者 (人)
第22回東員町子ども歌舞伎公演 (4,803,668円)	平成29年7月2日 (日)	子どもたちが演じる「義経千本桜 道行初音旅 吉野山道行の場」、「菅原伝授手習鑑 寺子屋の場」を公演。	639
東員町発ミュージカル第5弾 天高く馬跳ぶ春 (6,000,000円)	平成29年11月25日 (土) 平成29年11月26日 (日)	第1回目で発表したミュージカル「天高く馬跳ぶ春」を再公演。 演劇集団ローカルスーパースターズと共に地元出演者が、涙と笑いと感動で贈るミュージカル。	567 449 631 合計 1,647
第29回東員「日本の第九」演奏会 (3,679,044円)	平成29年12月23日 (土・祝)	なかにし礼作詩の日本語で歌う第九を始め、東員町民歌、「オーケストラと歌おう!」合唱団による児童合唱とMGDによるロビー演奏。	629
第36回東員町音楽祭	平成30年2月4日 (日)	主に町内で活動する音楽団体及び個人の演奏の場として開催。【出演団体等】こどもカレッジ「ことトコト」、ギターマンドリン合奏団翠、ピアノ演奏、東員アンサンブルオーケストラ。	349

事業名	決算額 職員数	点検・評価
総合文化センター維持 管理事業 (総合文化センター維持 管理経費)	51,156千円 0.35人	ひばりホール舞台音響設備改修工事(第2期)では、舞台等の音響設備のうち、音響調整卓、舞台上手・下手コネクター盤、客席コネクター盤及びインカムステーション等が耐用年数を経過し、舞台利用時の不良を避けるため取替を行いました。

(工事の概要)

単位:円

工事名	契約相手	契約金額	工期	工事概要
ひばりホール音響設備改修工事[第2期]	(株)エーアンドブイ	16,200,000	平成29年10月25日 ～ 平成30年2月13日	音響調整卓、舞台上手・下手コネクター盤、客席コネクター盤、インカムステーション等設備改修ほか

事業名	決算額 職員数	点検・評価
公民館諸事業 (公民館諸事業経費)	3,634千円 0.10人	社会教育法第22条に基づく、公民館講座は、(一社)東員町文化協会に委託し、中央公民館各講習室において、年間を通じ実施しました。講座は、洋裁教室などの講座の他、子育て中の年齢層を対象にヒップホップダンスやジェルネイルなどを新たに加え29講座を開講しました。また、こどもカレッジについては、土日及び長期休暇に体験型学習講座を実施し、町内の多くの子どもたちに参加いただきました。

公民館講座

講座名	区分	人数	講座名	区分	人数
気功健康法	前	10	和菓子づくり(練り切り)	通	6
フラダンス	前	7	日本舞踊	通	5
ジャズヒップホップダンス	前	8	書道(初級講座)	通	9
はじめよう!社交ダンス	前	5	ジェルネイル	通	9
小さな木像彫刻	前	6	書道	通	14
アルトリコーダー初級講座	前	9	ピアノを楽しむ	通	10
洋裁教室	前	6	絵手紙	通	13
美味しく学ぶ日本茶教室	前	6	ペン画入門	通	15
自分で作ろうホームページ	前	6	歴史よもやま話	通	8
押し花アート	前	5	パソコン教室	後	6
初めてのクラフトテープ	前	6	手編みレース編み	後	5
入門英会話	前	19	楽しく茶の湯	後	9
写真撮影テクニック	通	5	楽しく大正琴	後	7
手作りパン&スイーツ	通	12	天体観望会 ※1	通	18
華道(小原流)	通	6	合計	29	講座 250

※1 天体観望会

日程	テーマ	参加人数
8月26日	夏の星座と土星について	10
11月25日	秋の星座とアンドロメダ銀河	8
	計	18

【こどもカレッジ】

講座名	対象	回数	実施日	定員	参加人数
たのしい「こと♪コト」	1～6	9	6月10日～2月3日	20	58
たのしいこどもクッキング（第1回）	1～6と保護者	1	7月1日	36	27
親子で作ろう シュリシュリ!バスボム	1～6と保護者	1	7月22日	20	23
自然素材を使って恐竜づくり	1～6	1	8月18日	20	11
3Dアートづくり	1～3	1	8月23日	16	6
たのしいこどもクッキング（第2回）	1～6と保護者	1	12月16日	36	28
たのしいこども陶芸教室	1～6	1	2月3日	10	10
自然素材を使ってひな人形づくり	1～6	1	2月10日	20	3
たのしいこどもクッキング（第3回）	1～6と保護者	1	3月3日	36	15
親子でたのしいラジコンづくり	1～6と保護者	1	3月17日	30	28
ネイチャーくらぶ(年5回)*	1～6	5	5月27日～11月23日	20	67

* ネイチャーくらぶ 内容

1回目	ホタルの観察会(神田池公園付近)(5月27日)
2回目	淡水魚の観察(ストックヤード付近・桑名市五反田地内)(7月8日)
3回目	昆虫採集・草遊び教室(笹尾西小学校地内)(7月29日)
4回目	手づくり竿で魚釣り体験(北部山田溜公園)(8月19日)
5回目	リースづくり(北部山田溜公園)(11月23日)

※対象は「学年」表示。 ※参加人数は、延べ人数。

合計 276

事業名	決算額 職員数	点検・評価
笹尾コミュニティーセンター運営事業 (笹尾コミュニティーセンター経費)	6,565千円 0.01人	<p>常時1名の臨時職員を配置し、隣接する笹尾連絡所と一体的に管理運営を行いました。夜間も稼動していた住民票等の自動交付機が平成29年7月31日をもって廃止されたことに伴い、8月1日から総合文化センターと同様に、夜間に施設使用がないときは午後5時で閉館することとしました。</p> <p>このほか、消防用設備の不良箇所の修繕、洋式トイレの水漏れ修理(1基)などを実施し、維持管理に努めました。また、老朽化していた事務所内の複写機(1台)をリースにより更新しました。</p>
東員町・大台町子ども交流事業	501千円 0.01人	<p>東員町の小学生(4～6年生)29人と大台町の小学生(5～6年生)10人が1泊2日のキャンプを通して交流を深めました。</p> <p>【実施日 8月26日～27日(1泊2日)】</p>
図書館運営事業 (図書館経費)	17,759千円 1.32人	<p>図書館司書による選書のもと、蔵書の充実に努めるとともに図書館のリサイクル会を開催し、年数経過等により不用となった図書館の有効活用を図りました。また、図書館横のプレールームでボランティア団体(朗読ひばりの会)による読み聞かせ会や人形劇の鑑賞会を行って児童サービスの充実に努め、学校教育と連携して引き続き「東員町読書登山」による子どもの読書活動の振興に努めました。また、町制施行50周年記念事業として、3月17日(土)にひばりホールにおいて朗読ひばりの会と共に読書振興事業「ひばりおはなし会&現代尺八 岩田卓也ライブ・わらび座わくわく和ライブ」を開催しました。(入場者640人)</p>
文化財調査委員会事業 (文化財調査委員会経費)	21千円 0.13人	<p>平成30年2月16日(金)に文化財調査委員会を開催し、町指定天然記念物であるトウインヤエヤマザクラ(第1号)が枯死したこと(文化財保護事業を参照)を受け、指定の取扱いについて審議しました。その結果、取り木により第1号本体の遺伝子をそのまま受け継いだ幼木が根付いて成長していること、開花は数年先になることから、指定は暫定的に継続し、花の特徴等を改めて確認しうえ結論を出すことになりました。</p>

文化財保護事業 (文化財保護経費)	1,315千円 0.33人	町指定天然記念物であるトウインヤエヤマザクラ及び山田半ノ木谷イヌナシ自生地等において、樹木医に樹勢回復作業を委託し実施しました。また、県指定無形民俗文化財「猪名部神社上げ馬神事」及び町指定無形民俗文化財「六把野獅子舞」の維持・保存を図るため、保持団体に補助金を交付しました。 【トウインヤエヤマザクラ】 平成28年度に、早期の落葉など再び樹勢が低下したトウインヤエヤマザクラ(第1号)は、平成29年春は開花せずいっそう衰弱が進み、9月には樹木医から枯死したと診断されました。その後、台風21号の接近に伴う強風により倒れる危険があったため、10月19日(木)に伐採しました。現地には、幹から生やした不定根(幼木)1本を平成29年6月に取り木して移植したものが有り、根付いて成長しています。また、第2号は元気で、例年どおり開花しました。今後は、次世代の子孫を残し増やすことができるよう保護に取り組みます。 【観音もみじ】 生育を阻害するカミキリムシを駆除するための調査・薬剤散布を平成28年度に続き実施しました。
郷土資料館運営事業 (郷土資料館経費)	4,191千円 0.01人	郷土資料館を移転するため、城山小学校校舎改修工事を施行しました(工期 平成29年6月7日～8月31日)。10月10日に開所式を行い、事前申込み制による一般利用を開始しました。旧資料館から引き継いだ生活用具や農機具類82点のほか、城山1丁目にあった中世城館山田城の跡からの出土品、六把野井水古地図(写し)などを展示しています。

(工事の概要)

単位：円

工事名	契約相手	契約金額	工期	工事概要
城山小学校校舎改修(郷土資料館移転)工事	伊藤土建(株)	3,758,400	平成29年6月7日 ～ 平成29年8月31日	既存普通教室・廊下の改修、防火壁・扉、展示用台、出入口スロープ設置、火災報知設備改修

【社会体育】

事業名	決算額 職員数	点検・評価
ニュースポーツの普及・推進事業	536千円 0.05人	スポーツ推進委員の活動としては、9月2日(土)に体力テストを開催し、11月18日(土)に中部公園を利用したパークゴルフ大会を開催(雨天中止)、その他町が主催する町民体育祭の企画運営や他市町スポーツ推進委員との情報交換を行うなど、スポーツの推進に努めました。
県スポーツ大会への参加、町主催のスポーツ大会の開催	2,546千円 0.20人	第11回「美し国三重市町対抗駅伝大会」が、平成30年2月18日(日)に開催され、町代表選手10人が県庁から県営総合競技場までの約42kmのコースでタスキをつなぎ、結果は29市町中「町の部」で5位でした。 ※町主催の体育行事は次のとおりです。 10月22日(日)第59回町民体育祭 雨天中止 12月10日(日)第50回町民駅伝大会 19自治会 出場者 152名 なお、町主催事業は歴史もあり、スポーツによる地域振興や健康増進等の機会として十分な役割を果たしております。

スポーツ関係団体への育成支援	5,587千円 0.22人	<p>総合型地域スポーツクラブ「とういんフレンドリークラブ」は、町民の誰もが気軽にスポーツに参加できるよう、スポーツ教室やスポーツイベントを行い、町民ニーズの把握と、魅力ある企画に努め、町民の健康増進に寄与しました。</p> <p>【会員数及び参加数】 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="762 369 1412 504"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>一般会員数</th> <th>参加数（延べ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>688</td> <td>19,350</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>566</td> <td>20,917</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>800</td> <td>22,111</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成28年度から会員及び参加人数は、集計方法を変更</p> <p>体育協会は各種競技大会を通じ、参加者のコミュニケーションと体力向上、競技レベルの向上を図りました。また、スポーツ少年団はスポーツを通じた子どもたちの健全育成を図るため、指導員の養成や各種大会等を実施しました。</p> <p>なお、「東員町スポーツ協会」については、体育協会・スポーツ少年団・フレンドリークラブの3団体が有機的に連携し、生涯スポーツの振興と健康増進を担うための支援を行うと共に、町民体育祭や町民駅伝大会の企画運営及び「美し国三重市町対抗駅伝大会」参加についての運営を委託し、町民体育祭を除く事業について実施しました。</p> <p>これら3団体の統合により、事務局も効率的に機能し、団体間の調整も容易となったことから、今後も町民の誰もが参加しやすく、スポーツを通して健康維持や交流ができる場を充実していくよう指導を行います。</p>	年度	一般会員数	参加数（延べ）	H29	688	19,350	H28	566	20,917	H27	800	22,111
年度	一般会員数	参加数（延べ）												
H29	688	19,350												
H28	566	20,917												
H27	800	22,111												

体育施設整備事業	7,940千円 0.12人	体育施設の状況については老朽化が進んでおり、平成29年度は中央球場の高圧受電設備の改修を行ない施設の安全管理に努めました。
----------	--------------------------------	---

(工事の概要) 単位：円

工事名	契約相手	契約金額	工期	工事概要
中央球場電気設備改修工事	(株)六晃電気産業	6,924,960	平成29年10月25日 ～ 平成30年2月2日	キュービクル改修 高圧引込配線改修

事業名	決算額 職員数	点検・評価
体育施設運営事業 (学校体育施設運営事業含む) (維持管理経費)	55,869千円 0.81人	町体育施設は一般利用者のほか、1年を通して自治会対抗行事、スポーツ少年団活動、フレンドリークラブが企画した教室等の会場として利用されています。町民プール開業期間は天候不良の日が多く、利用者数は27,293人と前年度比で約2千人ほど減となりました。 学校体育施設開放については、町民にとって最も身近なスポーツ施設として地域の団体やグループの方の卓球やバレーボール、バスケットボール等の練習などに活用し、陸上競技場については、平成24年に第3種の公認となり、平成29年10月15日付けで公認は終了しております。より多くの町民の方が安全で快適に利用でき、町民の健康増進に繋がるよう、施設の維持管理と運営に努めました。
(使用料収入)		
体育館・武道館 7,699千円	8,381千円	
陸上競技場 15,412千円	3,667千円	
町民プール 15,375千円	3,499千円	
中央球場・テニスコート 8,878千円	750千円	
城山球場・テニスコート 6,485千円	2,291千円	
長深グラウンド 1,999千円 その他体育施設 21千円	4千円 1,280千円	

IV 学校（幼稚園・保育園、小学校、中学校）の評価

各園・学校においては、社会情勢や子ども達を取り巻く環境が年々多様化・複雑化する今日、子ども達の「生きる力」を育むため、東員町学校（園）教育目標である「確かな学力と豊かな人間性をもとに社会に参画する力（自己実現と社会の発展に貢献する力）の育成」を実行すべく、各々の園・学校の状況を踏まえた「目指す子ども像」を掲げて、その実現に取り組みました。

平成27年度に特に重点を置く項目を絞って具体的な目標を立て、各園・学校で懸命に取り組みを行い、年度末に項目ごとの達成度を自己評価しています。

（※本町は、幼保一体施設により3歳以上児は合同で教育・保育を実施しており、各園は教育・保育一体の取り組みについて自己評価をしています。）

自己評価の結果を見ると、各学校・園ともに概ねその目標を達成しています。目標を達成した項目分野に関しては、教育委員会としての取り組み・支援についても、一定の成果をあげたものと自己評価するところです。しかし各学校・園において達成度が低い項目に関しましては、教育委員会全体でその要因を調査・分析し、次年度以降重点な支援を検討していく必要があると考えます。

①幼稚園・保育園

各園ともに子どもの発達状況に応じた教育・保育目標を定め、子どもの意欲を高める教育・保育活動が行われており、生きる力を育むために豊かな心、豊かな体の育成が行えたとしています。また、開かれた園づくりについても達成率が向上しています。

②小学校・中学校

基礎学力の定着などについては、少人数教育の推進などから前年度と同様に概ね各校が目標を達成しておりますし、家庭学習の習慣化についても達成度が向上しており、地道な取り組みの成果が現われています。

しかし読書活動については、朝読書の取り組みや司書の配置など充実に努めましたが、前年度に引き続き達成度の低い学校が見られます。さらに小学生に比べ中学生の図書館貸出数が低い傾向が固定化しつつあり、取り組みの一層の充実が必要と考えます。

次に豊かな人間性の育成については、集団づくりや人と関わる力の育成などで達成度が低い傾向が出ています。相手の気持ちを思いやることや関わりあいのある授業づくりなどで課題を挙げる学校がありました。

開かれた学校づくりでは概ね目標を達成していますが、自己評価の低い学校もあり、取り組みを一層推し進めていきます。

安心・安全の学校づくりの項目は、学校運営において第一に大切にしなければならない事柄ですが、達成率の低い学校があります。交通事情や周辺環境の変化などにより、安全な通学に関する課題が解消されておられませんので、道路の担当部署や警察と連携して課題の解消に向け今後も取り組んで行く必要があります。

V 評価委員会の意見

評価委員会において、委員から次のようなご意見をいただきました。今後の教育委員会の運営及び点検・評価の参考にさせていただきます。

1 教育総務課に係る主要事業について

(1) P 2

委員研修ですが、研修がどのように生かされたか？東員第一中学校の移転の参考していただきたい。

(2) P 4

教育予算が、年々減少している要因は？将来を担う子ども達への予算の確保をしていただきたい。

(3) P 6

教職員の健康管理で面接人数が2倍に増加しているが、働き方改革を行ってさらに過重労働の減少に努められたい。

(4) P 6

小学校の体育館トイレ改修があるが、他の小学校や中学校の状況は？

(5) P 7

給食費の未払いに対する適切な措置とは？

2 学校教育課に係る主要事業について

(1) P 4

教職員数ですが、栄養教諭が1名で学校栄養教諭が0名となっていますが、同じ方ですか？

(2) P 8

保育園運営事業で支援員の数に限りがあり、知恵と工夫が必要とあるがどのようなものか？

(3) P 8

A L T派遣事業で3.4年生の外国語活動の前倒しとは？

(4) P 9

特別支援教育推進事業の中学校の教育相談件数が1名と少ないが原因は？また、充実した研修とは？

(5) P 10、11

学力向上推進事業について、中学の理科、社会の達成率が低いと思うが、何が要因でこの結果につながったか、今後の課題等についても示してほしい。

(6) P 12

図書館支援事業で、東員町では読書登山を行っているが、中学校で本を読まなくなったことと先ほどの成績との因果関係は？

(7) P 15

東員町いじめ問題解決事業により解決につながった事案は？また協議会から報告をもらってどうなったのか？

3 社会教育課に係る主要事業について

(1) P 2 0

笹尾コミュニティーセンター運営事業は地元に指定管理にしてはどうか？
地元の拠点としての活用は？

(2) P 2 1

郷土資料館運営事業の一般利用者は？移転してどのように運営しているのか？周知方法は？

(3) P 2 2

東員町スポーツ協会が3団体（体育協会・スポーツ少年団・フレンドリークラブ）で行っている形態をとっているが、国は体育協会を日本スポーツ協会に名称変更しているが、体育協会の名称変更を行う予定は？

(4) P 2 2

体育施設運営事業について、長深グラウンドだけが使用料収入が少ない、減免団体が使用しているのであれば、自分たちで草を抜いてもらったかどうか？

4 幼保、小中学校の自己評価について

(1) この成果に対する翌年度以降にどう繋げていこうとしているのかを記載してはどうか？

(2) どの園・校でも、評価の点数に3が多く付けられている。冷静に判断したのか、2で評価したところが次年度の目標となるのか？

自己評価書

(幼稚園・保育園、小学校、中学校)

目 次

		ページ
【幼稚園・保育園】		
1	三和幼稚園・みなみ保育園	1
2	稲部幼稚園・いなべ保育園	2
3	神田幼稚園・東員保育園	3
4	笹尾西幼稚園・笹尾第一保育園	4
5	笹尾東幼稚園・笹尾第二保育園	5
6	城山幼稚園・しろやま保育園	6
【小学校】		
7	三和小学校	7
8	稲部小学校	8
9	神田小学校	9
10	笹尾西小学校	10
11	笹尾東小学校	11
12	城山小学校	12
【中学校】		
13	東員第一中学校	13
14	東員第二中学校	14

評価基準(④.目標を上回って達成した ③.目標通りに達成した ②.目標を少し下回った ①.目標を大きく下回った)

	内容	評価	成果	課題(今後に向けて)
1	子ども理解をし、一人ひとりの子どもの発達を支える園づくりに努めましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達や特性に応じ、認め・待つ・励ます等の対応でやる気に繋げ、子どもの内面も豊かにしていくことができました。 ・一人一人がやる気を持ち根気よく頑張れるよう、励まし・援助してきました。それぞれが3感を持ち達成感を味わい、やり抜く力に繋がられるように園全体で努めました。その結果95%近くの保護者が子どもの成長を感じ安心してあずけられるという評価に繋がりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の背景も理解し対応に努めます。子どもの発達には保護者と共に保育していく事を普段から意識し、園の要望を優先しすぎず保護者も含めて受け入れ、共に保育していくことを考えていきます。
2	職員間の連携を深め、力を合わせて教育目標の達成に取り組み、それぞれの個性を発揮した豊かな環境づくりに努めましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの子に限らず園全体の子どもの姿を共有し、発達段階を全職員が理解したうえで、必要な援助や認め励ましを意識して関わるよう努めました。その積み重ねから自己肯定感・自己有能感を高めることに繋がりました。 ・どの行事にも目標に向かい全職員で協力し一人の負担にならないような体制が取れることで、全体の達成感に繋がりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の連携を大切にしながらも、それぞれが持つ個性を発揮できる関係と豊かな環境作りを心がけていきます。 ・報告・連絡・相談を怠らず、個人で判断せず職員間が連携して共有していきます。保護者が安心して相談できる園と感じてもらえるような対応をしていきます。
3	研修成果を実践に活かし、子どもの学びを支える力につなげることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・提案保育・年齢部会や園内の研修を通して、様々な子どもの見方を学び、沢山の意見を知ることで総合的に判断し実践することにつながりました。保育者それぞれが人的環境を意識し、姿勢や声のかけ方を学び、子ども達の遊び込む力に繋げていくよう意識し取り組みました。その結果、保護者アンケートの「心身の成長を感じられた」では95%という結果になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修を広め学び合う研修が定着していませんでした。報告だけに終わらず、学んだことをどの様に子どもに反映させ活かし子どもの学びに繋がったかを報告することができる研修を行い、保育の向上に繋げていきたいと思います。
4	あらゆる場面を想定した命を守る取り組みを行い、危機管理の意識を高めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水時の避難確保計画を作成し、防災体制を明確にしました。地域とも連携し、円滑かつ迅速な避難が図れるよう訓練を積み重ねました。また、洪水時に限らず、様々な場合を想定し、支援センター利用者と共に訓練を毎月計画的に行いました。 ・アレルギー事故が起こらないよう、日々複数人で確認を行い事故防止に繋がりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーが増えてきていることもあり、熱性痙攣等を含め、全職員が子どもの特性を周知して対応できるよう、危機管理マニュアルに基づいた訓練を研修に位置付けていく必要があります。 ・普段の生活から、子ども達が迅速な行動が出来る様な体の動きを身につけられるよう意識して取り組んでいきます。
5	東員町16年一貫教育プランに基づき、連続した学びの充実や、小中との連携を深めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・16年一貫プランに基づき、保育実践を積み上げてきました。そのことで、遊びの質の向上を図ることができました。 ・4歳児と4年生、5歳児と5年生と2年継続しての交流を計画的に行うことで、子ども達同士の繋がりがより深くなっています。共に研修する保育・授業交流やCLM研修を通して、職員は子どもの姿を共有すると共に3感を育てることに繋がりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・16年一貫プランを常に意識した保育が、地域や保護者にも浸透していくよう便り等を通じて発信を続けていきます。 ・来年度も引き続き小中との連携を、積極的に計画して行うことで、期待や憧れの気持ちを育てていきます。また、三和学童が新設され学童が身近になったことから、小学校と連携をより密に行っていきます。
6	保護者の子育ての悩みを受け止め、適切な子育て支援に努め、保護者との信頼関係を深めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係を深められるよう、日々の子どもの様子を伝えたり、子育てに対する悩みを受け止めるよう努力してきました。そのことで、子育てに対する不安を和らげることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園と保護者の求めているものにズレがあったり、連携不足から保護者に不安感を感じさせてしまう面があるということが、アンケート結果から伺えました。保護者の思いを受け止めると共に、さらに信頼されるよう保育者としての知識を深めていきます。
7	未就園児の親子や地域の人々と交流を持ち、開かれた園づくりに努めることができましたか。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり保育の利用者が、年間100日以上と増えてきました。その中には、子育てに不安を抱かえている方も多く、保護者支援にも努めました。リピーター率もとても高く利用されています。 ・地域と計画的に農業体験を年間4回行い、三和地区ならではの地域交流を深め農業に興味関心を持つ園児が増えました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の中で、子育ての孤立化が増えてきています。少しでも保護者が前向きに育児をしていける環境作りを大切にしています。

平成29年度 稲部幼稚園・いなべ保育園 自己評価書

評価基準(④.目標を上回って達成した ③.目標通りに達成した ②.目標を少し下回った ①.目標を大きく下回った)

	内容	評価	成果	課題(今後に向けて)
1	子ども理解をし、一人ひとりの子どもの発達を支える園づくりに努めましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの発達段階に合わせた遊びや援助を考え、実践することができました。 支援児は個別療育を行い、発達を促すことができました。そのことはそれぞれの発達検査の数値が上がったことから確認できました。 保護者アンケートではこの項目に関する評価が昨年より5%近く上がりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も職員間で子どもの姿を共有し合い、子どもの発達を学び、保育の質の向上に努めていきます。 他の子と比べるのではなく、その子に合った丁寧な関わりや保育をしていきます。
2	職員間の連携を深め、力を合わせて教育目標の達成に取り組み、それぞれの個性を発揮した豊かな環境づくりに努めましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> 自分一人で判断するのではなく、他の職員の意見も聞くようにし、連携を常に意識しました。 情報共有を通して、同じ姿勢で子どもに指導や援助をするようにしました。 指編み・風呂敷包み等新しいことに取り組み、手先の発達・根気などの力につながりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 長時間担当の保育士とも同じ思いで保育していけるように、連携を密にしていきます。 日々の子どもの様子を気軽に話し合える職場環境作りに努めます。
3	研修成果を実践に活かし、子どもの学びを支える力につなげることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> 研修で学んだことはすぐに実行し、悩んでいることの手立てとなりました。 研修に参加することで、自分の保育を振り返り、違う捉え方や関わり方に気づき実践に活かすことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 限られた研修時間を有効に使うためにも、論点を明確にして、端的に伝えることをより意識していきます。 学んだことを継続して実践することで、子どもの成長を促していきます。
4	あらゆる場面を想定した命を守る取り組みを行い、危機管理の意識を高めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練は勿論のこと、朝の打ち合わせ時にアレルギー対応児の確認を全員で行ない、周知徹底することができました。 園での訓練の様子なども発信することで、保護者アンケートでは「安全に対する配慮」の項目で評価が昨年より3%近く上がりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度においても、エピペンの研修や、緊急時の対応方法について、確認を怠らないように計画していきます。 様々な場面を想定した保育者の動きを訓練していきます。
5	東員町16年一貫教育プランに基づき、連続した学びの充実や、小中との連携を深めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> 小・中の先生と保育や授業を参観し合い、討議することで子ども掴みの連携を深めることができました。 園だよりや、クラスだよりを通して、16年一貫教育プランと絡めた内容を発信し、保護者アンケートでは「方針がわかりやすい」という項目で評価が5%近く上がりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 今だけでなく、遠い未来を見据えて、今していることが大切な基礎となることを常に意識して保育していきます。 交流後の振り返りが弱いと思われるため、成果と課題を明確にして、次回や次年度につなげていきます。
6	保護者の子育ての悩みを受け止め、適切な子育て支援に努め、保護者との信頼関係を深めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時、連絡ノート、懇談などを通して園での様子や、家庭の様子を交流することで、保護者の相談に応じるようにしました。 まずは、保護者の思いを聞くことを大切に対応することで、悩みを出しやすい状況を作ることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化と共に保護者が抱える悩みも更に多様化しており、保護者対応にもより専門性が求められるようになってきています。他機関との連携を密にとっていきます。 子どもだけでなく、保護者にも肯定感が持てるようにしていき、子育てに自信が持てるように配慮していきます。
7	未就園児の親子や地域の人々と交流を持ち、開かれた園づくりに努めることができましたか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 園行事や、栽培活動などに民生委員やシルバーの方、小学校にも参加して頂き、交流の場になりました。 園開放や運動会など未就園児の子に開かれた園となりました。 保護者の特技を募り、園独自の取り組みを行うことができました。(指あみ、歯磨き教室等) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校との連携・交流も引き続き深めていきます。 園独自の取り組みを今後も大切にしていきます。

平成29年度 神田幼稚園・東員保育園 自己評価書

評価基準 (④.目標を上回って達成した ③.目標通りに達成した ②.目標を少し下回った ①.目標を大きく下回った)

	内容	評価	成果	課題(今後に向けて)
1	子ども理解をし、一人ひとりの子どもの発達を支える園づくりに努めましたか。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿から努力目標を作成し、その目標が達成出来るように、子ども掴みや発達理解に努め、個々に合った関わりや手立てを考えました。 ・3感や子ども達の意欲を引き出すことを意識しながら保育し、心身の成長を促してきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も一人ひとりの子どもの育ちを園全体で考えられるように、3歳以上児、未満児の職員間での連携を密にしていきたいと思います。 ・子どもの困り感に対し要因究明、サポートの仕方を共に考え、共有し理解を深めていきます。
2	職員間の連携を深め、力を合わせて教育目標の達成に取り組む、それぞれの個性を発揮した豊かな環境づくりに努めましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・園全体でやり抜く力や表現する力について話し合うことで、各年齢の大切にすべきところや0～5歳児の繋がりを共通認識できました。 ・教育目標に向けて同じ意識を持ちながらも担任の得意分野を活かしたクラス作りに努め、クラスの良さを大事にしながら環境を考えました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員それぞれの個性が発揮できるよう、自ら意欲的に発信していきます。 ・保育内容はマンネリ化せず、子どもの様子に応じた環境、教材準備を行っていきます。
3	研修成果を実践に活かし、子どもの学びを支える力につなげることができましたか。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・提案保育や指導主事、CLM研修での学びは、改めて自分の保育を見直す機会になり、取り入れられることはすぐに保育に活かして行きました。 ・実践に基づき討議することで、援助の仕方や環境構成等、自分にはない考え方に気づくことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が多いので、実践提案者が限定されてしまうため、人数が少ないグループ単位、時間も30分以内と限定したミニ実践討議や互いの保育観察を行っていきます。
4	あらゆる場面を想定した命を守る取り組みを行い、危機管理の意識を高めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、定期的に行う避難訓練を通して、見落とされがちな場所や動きが明確化され、次に活かしていくことができました。 ・アレルギー対応では誤食、誤配を防ぐマニュアルを守り、毎朝の職員打ち合わせで確認する事で無事故に繋がりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に園舎内外の環境点検を行い、危険箇所の早期発見、改善、避難経路の確認を行っていきます。 ・実際に災害が起こった時、臨機応変な職員の動きが求められるので、様々な場面を想定した訓練を行っていきます。
5	東員町16年一貫教育プランに基づき、連続した学びの充実や、小中との連携を深めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校との連携では、子ども達が親しみを持って交流できていたので、安心して入学を迎えられます。 ・町教研の活動等で小中学校の先生と話し合う機会を持ち、お互いの状況や目指す姿を知ることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生との交流会は、計画的に職員間の連絡を密に行います。また形だけに終わらないよう、交流後の反省、評価行っていきます。
6	保護者の子育ての悩みを受け止め、適切な子育て支援に努め、保護者との信頼関係を深めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、保護者の方とコミュニケーションを図り、連絡帳でのやり取りをすることで、悩み等相談しやすい環境作りを心がけ、信頼関係を深めることができました。 ・保護者にも3感をより意識してもらえるように、具体的な子どもの姿を伝えてきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談に上手くアドバイスが出来ない場合には、一人で抱え込まず園全体で考えていきます。 ・園での様子を出来る限り知らせ、どんな成長、学びがあったかを伝えていきます。
7	未就園児の親子や地域の人々と交流を持ち、開かれた園づくりに努めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる影絵、絵本の読み聞かせ、マンドリン演奏会等の催しを計画し、様々な文化に触れることができました。 ・地域ボランティアの方には環境整備だけではなく、子ども達と触れ合っていただく機会もあり、交流することができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会を利用して園の取り組みを発信してきましたが、今後は未就園の親子に対しても園の保育内容を発信していきます、安心して子どもを預けられる園作りを目指していきます。

評価基準(④.目標を上回って達成した ③.目標通りに達成した ②.目標を少し下回った ①.目標を大きく下回った)

	内容	評価	成果	課題(今後に向けて)
1	子ども理解をし、一人ひとりの子どもの発達を支える園づくりに努めましたか。	4	・研修や部会などの学びを基に、一人ひとりに寄り添い、発達や困り感を掴み、それぞれの子どもの姿に合わせて援助していけるよう努める事が出来ました。	・園全体で子ども掴みを行い、その子に今必要な事は何か、つけたい力は何かを考えて、今後も保育をしていかななくてはいけないと思います。
2	職員間の連携を深め、力を合わせて教育目標の達成に取り組み、それぞれの個性を発揮した豊かな環境づくりに努めましたか。	3	・3感を土台にして教育目標達成に向け、密に連絡・報告・相談を行うよう意識し、個性を尊重し職員同士の連携をとりながら努めてきました。	・教育目標や一人ひとりに対するねらいに沿って、今日の子どもの遊びから明日の保育に繋げる保育を構築する力を一人ひとりの職員が身に付ける事と他の職員から学び自分の保育にも活かしていける集団作りをすることが課題です。
3	研修成果を実践に活かし、子どもの学びを支える力につなげることができましたか。	3	・園内研修、園外研修、自主研修など、様々な研修で学びを深め、職員間でも広めていき、日々の実践に活かせるようにしました。	・子どもの姿を通し教育目標を達成するために保育者自身も子どもと一緒に考え、学んだり、見聞を広めるために講演会などにも参加し学びを職場内に広め、互いが保育の質を高められる職場環境を目指して日々努力をしていかなければならないと思います。
4	あらゆる場面を想定した命を守る取り組みを行い、危機管理の意識を高めることができましたか。	4	・アレルギー研修、救急救命、避難訓練を通して危機管理についての知識を身に付け、意識を高め日常に活用し事故防止が出来ました。	・あらゆる場面で臨機応変に動ける職員集団にするためには更なる演習、研修を継続させ安心安全な園生活を定着させていく事です。
5	東員町16年一貫教育プランに基づき、連続した学びの充実や、小中との連携を深めることができましたか。	3	・町教研やCLM等の研修では相互の職員が学びあい、理解を深め教育の継続に繋げ、また園児は小中学生との交流を持つ事により進学への期待を持つ事が出来ました。	・互いのカリキュラムに無理のないように計画的に実施すると共に、平成30年度の幼稚園教育要領・保育所保育指針改定に基づき、より一層保育の質を向上させ、小学校での質の高いスタートプランに繋げていくことが課題です。
6	保護者の子育ての悩みを受け止め、適切な子育て支援に努め、保護者との信頼関係を深めることができましたか。	3	・園児や保護者との信頼関係の大切さを感じ、意思疎通に心がけました。 ・問題が起きた時には、早急に対処し親子共に安心して登園できるようにしました。	・保護者の困り感や園への要望なども多様化しているのでまずは話をよく聞き受けとめる事を大切にしなければなりません。更に16年一貫プランや、子育ての手引き版を、目の前の子どもの姿につなげながら、保護者に広め信頼関係を築き、より良い保育に努める必要があります。
7	未就園児の親子や地域の人々と交流を持ち、開かれた園づくりに努めることができましたか。	3	・ちびっこパークを通じて子育て相談に応じる場所を提供したり絵本の読み聞かせ、フラダンス、マンドリン演奏などで地域の方々の力を取り入れ保育内容を豊かにする事が出来ました。	・さらに地域の方に、来園して頂き園づくりを理解していただける催しを工夫していきたいです。 ・ちびっこパークに参加していない未就園児の様子を把握し支援していくことが課題です。

平成29年度 笹尾東幼稚園・笹尾第二保育園 自己評価書

評価基準(④.目標を上回って達成した ③.目標通りに達成した ②.目標を少し下回った ①.目標を大きく下回った)

	内容	評価	成果	課題(今後に向けて)
1	子ども理解をし、一人ひとりの子どもの発達を支える園づくりに努めましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたち一人ひとりのありのままの姿をしっかりと受け止め見通しを持ち、その子に合った丁寧な保育ができました。その結果、子どもたちが日課を理解し自ら動き安心して園生活を送れる姿となりました。保護者アンケートより、現在園に行くのを楽しみにしている子どもが97%を上回っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの表面的な姿だけで援助を考えるのではなく子どもの内面や背景も汲み取る中で援助を考え、さらに子ども理解を深めていきます。 発達支援室での療育を園で継続していけるよう、担任・特別支援コーディネーター・支援員と連携を計り、支援児への成長・発達をより促していきます。
2	職員間の連携を深め、力を合わせて教育目標の達成に取り組み、それぞれの個性を発揮した豊かな環境づくりに努めましたか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 同じ年齢、又学年間での連携を密にし、研修等でも子どもの理解を深め、教育目標に向かっていくことができました。 心地良い職員関係のもと、良いところを広め合いながら環境の向上にも努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も現状に満足せず、互いに探求心を持ち、高め合っていくことを目指していきます。
3	研修成果を実践に活かし、子どもの学びを支える力につなげることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> CLM研修や園内研修(月案討議・実践討議)、カリキュラム研修、自己研修(わらべうた、教育要領改訂等)で学んだことから子ども理解を深め、子どもの学びを支える力に繋げることができました。 自園・他園の保育を観ることで自分の保育を振り返り、様々な意見を自分の保育に取り入れることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も各々が研修会に参加し、学んだことを園内で必ず共有・実践し、子どもの学びを支える力に繋げていきます。 常に自分の保育を振り返り、更なる保育の資質向上に努めていきたいと思えます。
4	あらゆる場面を想定した命を守る取り組みを行い、危機管理の意識を高めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は医師を招いてアレルギー講習会を開催し、大変有意義な時間となりました。エビペンの使い方を学び、その学びを園内にも持ち帰り誤食によるアナフィラキシーショックが起きたことを想定した訓練を行いました。 予期せぬ災害に備え午前中の避難訓練に加え、午後にも訓練を設けました。 	<ul style="list-style-type: none"> 小さなミスも大きな事故に繋がるため、幾重にもわたるチェックポイントでの確認を怠ることなく気を引き締めていきます。今年度同様、ボード、確認表、名札、色付き食器を使用し、視覚的にも間違いのないように配慮します。 来年度も様々な時間帯での避難訓練を実施し、危機管理に努めます。
5	東員町16年一貫教育プランに基づき、連続した学びの充実や、小中との連携を深めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> 常に基本的信頼感・自己肯定感・自己有能感の三感を念頭に置き、子どもたちの三感を高められるよう研修してきました。 園内での連続した学びが充実するよう各年齢の発達を理解し、丁寧な保育を心がけました。 各行事を通して小中との連携も多く持つことができ充実したものとなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 園生活では、活動の内容や結果だけではなく、活動へ向かう過程での心の動きや頑張りを大切にしています。これらを根拠を持って説明し、真の理解や連携に繋げていきたいと思えます。 連続した学びを充実させるため、日々の保育においてより明確な目標を持っています。
6	保護者の子育ての悩みを受け止め、適切な子育て支援に努め、保護者との信頼関係を深めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> 年度末の保護者アンケートより「園は保護者の要望や相談に誠意を持って応じている」との項目で「そう思う」「やや思う」の合計が98%を超えています。まずは保護者の思いを受け止めた上で対応することができました。 保護者と共に子どもの成長を喜び合える関係作りに努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭においては子育ての悩み等、様々な思いを持っているため、その家庭に合った親支援・伝え方を常に模索していきます。 保護者と話し合う時間・話し合う場の環境の整えを考慮していきます。
7	未就園児の親子や地域の人々と交流を持ち、開かれた園づくりに努めることができましたか。	3	<ul style="list-style-type: none"> ちびっこパークなどで地域の未就園児に園の様子を知ってもらい、遊びの場を提供できました。担当保育者や保護者同士が、気軽にコミュニケーションが取れる場となっています。 ボランティアの方々や野菜の栽培・焼き芋大会などで交流を持ち地域の方に園の様子を知ってもらう機会を作っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターからの情報を真摯に受け止めながら今後もちびっこパークを開催する中で親支援を進めていきます。 引き続き地域の方との交流を進め、日程調整を計画的に行っていきます。

評価基準(④.目標を上回って達成した ③.目標通りに達成した ②.目標を少し下回った ①.目標を大きく下回った)

	内容	評価	成果	課題(今後に向けて)
1	子ども理解をし、一人ひとりの子どもの発達を支える園づくりに努めましたか。	3	・月案、週案を通し、一人ひとりの発達の理解に努め、職員間で援助の仕方や環境の在り方を交流し、共通理解を深めました。個々に合った援助をすることで、自分の思いをなかなか出せない子が、困っていることなど少しずつ口に出して言ってくれるようになりました。	・全職員が園全体の子どもの姿を把握出来ていない部分もあったので、外遊びの場面など異年齢で触れ合う機会を持ち、積極的に他クラスの子ともたちと関わり、理解を深めたいです。
2	職員間の連携を深め、力を合わせて教育目標の達成に取り組み、それぞれの個性を発揮した豊かな環境づくりに努めましたか。	4	・野菜の栽培やクッキング、タマネギ染めなどに取り組み、その中で子どもの気づきや感性を深めていけるように接してきました。また、夏祭りや動物園ごっこなどの異年齢の関わりを通して、思いやりの気持ちが育まれるような機会を持ちました。	・保育者の意識や関わり方が子どもたちの興味、関心に繋がっていくので、その時限りにならないよう、計画をしっかりとたて継続して行っていきたいです。
3	研修成果を実践に活かし、子どもの学びを支える力につなげることができましたか。	3	・CLM研修では、90%支援の成功体験を積み重ねていく事で子どもたちの自信や意欲が高まっていく事が実感できました。継続して取り組むことで、スモールステップの子どもの成長を感じられました。	全職員が子どもの発達のとらえ方や関わり方等を学ぶ機会を持ち、子どもを見る力、子どもの学びを支える力を高めていきたいです。
4	あらゆる場面を想定した命を守る取り組みを行い、危機管理の意識を高めることができましたか。	3	・火災、地震、防犯における避難訓練を定期的に行い、気になった点を話し合い改善してきました。アレルギー対応など、みんなで共通認識をもっておきたいことは、朝の打ち合わせなどで職員で話し合う機会を持ちました。	緊急時の役割分担を決めて取り組んだものの、その日の職員構成により見直すことが多かった為、来年度は一つの役割に数人の担当を決めておきたいと思います。
5	東員町16年一貫教育プランに基づき、連続した学びの充実や、小中との連携を深めることができましたか。	2	・小中学校の先生方と一緒に研修を受けることで、幼保で大事にしている力がどのように発展しているかを学び、より乳幼児期の発達の重要性を知ることが出来ました。	・校区の園児と生徒との交流の場が余り持てなかった為、もう少し機会が増えるように、園からも発信し提案していきたいです。
6	保護者の子育ての悩みを受け止め、適切な子育て支援に努め、保護者との信頼関係を深めることができましたか。	3	・連絡帳のやり取りや送迎時の会話の中で、園での子どもの頑張りや成長を細かに伝え、保護者と共に見守ったり成長を喜びあったりできるように心がけてきました。 ・子どもの姿を随時知らせることで、保護者の方からも悩みや困っていることを話してくれるようになり、信頼関係を深めていけたように思います。	・保護者が園での子どもの姿を受け入れにくい事もある為、援助の仕方等の伝え方に気をつけていきたいです。
7	未就園児の親子や地域の人々と交流を持ち、開かれた園づくりに努めることができましたか。	4	・未就園児の子が園開放の日に遊びやすいように環境を整えたり、運動会に参加できるプログラムを取り入れ、親子で関わる機会を持つてきました。 ・地域の方が、行事に参加して一緒に楽しんだり、合唱・フラダンス・読み聞かせなど取り組んでみえる事業を披露して頂く機会を持ち文化への関心を高めました。	・散歩先や行事、ちびっこパークで積極的に関わりを持ち、地域の方にも親しみを感じてもらえるような関係を作って行きたいです。

平成29年度 三和小学校 学校自己評価書

学校経営理念：知・徳・体、バランスのとれた人間育成と信頼される学校づくり

学校教育目標：人として、心豊かに生きる子 ～優しく 賢く 逞しく～

評価：4…目標を上回って達成した 3…目標どおりに達成した 2…目標を少し下回った 1…目標を大きく下回った

長期	短期経営目標	重点施策等	評価	経営目標の現状（到達状況・改善方策等）
知： 確かな学力	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的内容の反復学習 帯時間学習 東員まなび検定ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習で「読解ドリル」「計算ドリル」を計画的に実施した。また漢字や計算のスパイラル練習を行い、定着を図った。学年末テストの定着率は、漢字96%、計算95%であった。 東員まなび検定を計画的に取り組み、全員合格できた。全校平均は97点であった。
	授業改善・指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> 各種テストの実施 テスト結果の分析等 職員研修の充実ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査やみえスタディチェック、IRT学力調査などのテストを実施し、分析結果を活かした学力補充を行った。 IRT学力調査でD層の割合が国語5.1%、算数6.2%減少した。 三重大学守田教授を年4回招聘し、国語力向上を図るための職員研修を実施した。
	家庭学習の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の手引き発行 家庭学習の指導 ノート指導ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭学習のすすめ」を配付し、各学年でチェックシートを作成し家庭との連携を密にして家庭学習の習慣化を図った。 各学年の家庭学習の時間（1年20分、2年以上は10分×学年）を意識して取り組んだ児童は、96%であった。
	読書の意欲向上	<ul style="list-style-type: none"> 朝の帯時間読書 読書登山の取組 読書活動等の取組ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 毎日朝読書を実施した。年間を通して「朗読ひばりの会」の読み聞かせや図書館専門員による読書指導を行った。 読書登山は学年目標を設定して取り組んだ。低学年の部は、2年生全員が達成した。 年3回実施した家庭読書デーでは、80%以上の家庭で取り組んだ。
徳： 豊かな人間性	道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画の策定 各教科、領域との関連 道徳の時間の充実ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の全体計画及び各学年の年間指導計画を作成した。 道徳教育は、各教科、領域との関連を図って行った。 「わたしたちの道徳」「三重県版心のノート」を活用して、道徳の時間の充実を図った。
	人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育推進計画策定 「いじめ防止基本方針」 特別支援教育の充実ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育推進計画にそって、各学年で人権学習を行った。11月には授業参観日に「人権学習の授業公開」を行った。 「いじめ防止基本方針」にそって未然防止と早急な対応を行った。 個別の指導・支援の充実に努め、特別支援教育の充実を図った。
	コミュニケーション力の向上	<ul style="list-style-type: none"> SSTの実施 Q-U調査の実施 あいさつ運動の実施ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 月2回のSST活動と年3回のQU調査を実施した。研修の充実に努めた結果、学級満足群は1学期77%から3学期88%になった。 児童会を中心にあいさつ運動を実施し、全校であいさつの推進に努めた結果、「進んであいさつする」児童は98%になった。
	児童生徒の自治的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 児童会、生徒会活動 縦割り班活動等 部活動等ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 児童会では、「あいさつ」「そうじ」「決まりを守る」「相手の気持ちを考える」取組を実施した。 児童会では、縦割り班を中心にした児童会行事を実施した。縦割り班活動を年間を通して実施し、異年齢集団のつながりを深めた。
体： 健やかな体	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストの実施・分析 各種体育的行事の実施 東員なわとび検定ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストを実施し、分析結果を活かした授業改善を行った。その結果、「50m走」「ボール投げ」の力が向上した。 運動会やマラソン記録会など、体育的行事を実施した。 東員なわとび検定の取組を、ボランティアの協力を得て実施した。
	保健教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育 計画的な保健指導 保健だよりの発行ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 学校歯科医によるブラッシング指導や歯磨きカードの取組を通して食後の歯磨き習慣の定着を図った。 PTAと連携し「生活習慣見直しウィーク」の取組を年3回実施した。 計画的に保健指導と保健だよりの発行を行った。
信： 信頼される学校	開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケート 学校自己評価の実施 学校評議員会の開催ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 年2回、保護者と児童に対する学校評価アンケートを実施した。 学校評価アンケート結果をもとに、改善策を考え、実践した。 学校評議員会・学校関係者評価委員会を実施した。学校アンケート結果や学校自己評価について説明し、意見をいただいた。
	安全・安心な学校	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全、防犯、防災教室の実施 けが、病気へのていねいな対応ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 防災計画にそって避難訓練・防犯教室・交通安全教室を実施した。 幼稚園と連携した引き渡し訓練を実施した。 けが、病気への丁寧な対応を行い、保護者との連携を密にした。 毎週月曜日にミニ通学班集会を実施し児童への安全指導を行った。

学校関係者評価委員意見より
 児童会が行っている「あいさつ運動」「うれしさいっぱいの花を咲かせよう運動」は、自分たちで工夫をしていて素晴らしい。今後も続けてほしい。学校でたくさんの取組をしてもらっていることがわかった。来年度以降、特別の教科道徳や英語の学習が子ども達や先生方の負担にならないかと心配する。学校が、子ども達の自主性を大切にした授業を行っていることはありがたい。シニアクラブでも、下校の見守りや餅つき大会の参加のほか、地域での子ども達との交流を今後も大切にしていきたい。

平成29年度 稲部小学校 学校自己評価書

学校経営理念：知・徳・体、バランスのとれた人間育成と信頼される学校づくり

学校教育目標：やさしく、たくましく、知性豊かな子の育成

評価：4…目標を上回って達成した 3…目標どおりに達成した 2…目標を少し下回った 1…目標を大きく下回った

長期	短期経営目標	重点施策等	評価	経営目標の現状（到達状況・改善方策等）
知：確かな学力	基礎学力の定着	・基礎的内容の反復学習 ・帯時間学習 ・東員まなび検定ほか	3	・学期・学年末の漢字・計算テストの正答率が90%以上になった。 ・帯学習では、算数・国語の補充学習を繰り返し行った。 ・とういん学び検定に全員合格し、漢字や計算の定着率は90%以上であった。 ・放課後の補習にも取り組み、反復練習を進めた。
	授業改善・指導力向上	・各種テストの実施 ・テスト結果の分析等 ・職員研修の充実ほか	3	・11月のIRT調査における平均正答率はほぼ80%を達成できた。ただ、80%を切る領域もあり、引き続き弱みの克服を行いたい。 ・授業の授業規律シートをもとに規律が統一され、徹底が図れた。 ・国語研修を継続し、情報の活用と表現力向上を図った。児童の対話時間の確保が進んだ。
	家庭学習の習慣化	・家庭学習の手引き発行 ・家庭学習の指導 ・ノート指導ほか	3	・家庭学習のすすめを配布した。宿題の提出が続かない家庭については放課後の補充学習を行い、改善が見られた。 ・家庭学習の時間の定着率（10分×学年）は86%であった。 ・自らが学習を進められるよう、高学年からの自主学習を引き続き指導する。
	読書の意欲向上	・朝の帯時間読書 ・読書登山の取組 ・読書活動等の取組ほか	4	・貸出冊数が増加し、一人当たり平均33冊になった。 ・学校図書館専門員と連携し、読書感想文に取り組み、コンクールに応募し、入選者もあった。 ・毎学期、図書イベントを実施し、読書意欲につなげることができた。12月までの読書登山達成者64人となった。
徳：豊かな人間性	道徳教育の充実	・年間計画の策定 ・各教科、領域との関連 ・道徳の時間の充実ほか	3	・全体計画を立て、道徳的心情の深化や実践力をつける指導を行ったが、日常の生活態度に生きていない姿もあった。 ・学校生活の中で、特別支援学級児童との交流を持ち、障害についての理解を深めた。 ・命の学習や認知症サポーター養成講座で心の教育を推進した。
	人権教育の推進	・人権教育推進計画策定 ・「いじめ防止基本方針」 ・特別支援教育の充実ほか	3	・全学年で「きらりカード」の取り組みを継続した。 ・日常観察や学校アンケート等を活用し、定期的に児童理解を深め、全職員で情報共有し安心の環境づくりを推進した。 ・特別支援教育の研修として、「児童理解と支援」「検査結果の活用」について講師を招聘し学んだ。
	コミュニケーション力の向上	・SSTの実施 ・Q-U調査の実施 ・あいさつ運動の実施ほか	3	・QU調査の結果を担当が分析し、情報共有を行い、指導や支援を進めた。 ・QU調査結果から、児童への有効な手立てを学び合い、各学級の仲間作りを見直すことができた。 ・SSTの時間を設定し、「学級ソーシャルスキル」を活用した。
	児童生徒の自治的活動の充実	・児童会、生徒会活動 ・縦割り班活動等 ・部活動等ほか	3	・「あいさつ広げ隊」「掃除チェック」「手洗い・うがいの呼びかけ」「ペットボトルキャップ集め」「朝の落ち葉集め」など、児童会・委員会での創意工夫ある活動を行った。 ・色別のリーダーを中心に「あさがお大会」「運動会」「収穫祭」「全校行事」など、縦割り班活動の充実を図った。
体：健やかな体	体力の向上	・体力テストの実施・分析 ・各種体育的行事の実施 ・東員なわとび検定ほか	3	・全国体力テスト結果から、本校の弱みを分析し、朝の遊び時間を確保した。 ・縄跳び検定に取り組み、全校の目標達成率は79%だった。地域のボランティアの力を借り、昼休みの縄跳び練習にも取り組んだ。水泳指導では、学年目標の見直しを行い、指導の統一性を工夫した。
	保健教育の推進	・健康教育 ・計画的な保健指導 ・保健だよりの発行ほか	2	・生き生き生活習慣ウイークを年間3回行った。生活習慣の定着率が80%となり、引き続き生活習慣の確立に向けて取り組む。 ・メディアに関する取り組みでは、外部講師を招聘し、児童・保護者への学習を進めた。今後も継続して取り組んでいきたい。
信：信頼される学校	開かれた学校	・学校評価アンケート ・学校自己評価の実施 ・学校評議員会の開催ほか	3	・保護者アンケートでは、「分かりやすい目標を持ち、教育活動をよりよいものにしようとしている」の項目の肯定的な回答が98%の評価を受けた。 ・オープンスクールを行い、教育活動を保護者・地域の方に公開した。また、地域の関係者に学校だよりを定期的に届けた。
	安全・安心な学校	・交通安全、防犯、防災教室の実施 ・けが、病気へのていねいな対応ほか	3	・160人の下校安全ボランティアの方に登録していただき、ボランティア代表者会や総会を行った。日頃の感謝を伝えるとともに、下校時の安全確保について情報収集をした。また、日常の指導に活かした。 ・地震や火災想定避難・Jアラート訓練を実施し意識化に取り組んだ。

学校関係者評価委員意見より
 ・毎日児童に向き合う教師の元気・明るさが最も大事なことである。そのためにも、現状の活動の集中と選択は必要である。
 ・与えられたことをするのではなく、自分から望むものを掴もうとするたくましい児童を育ててほしい。これまでの活動を継続するのではなく、よりよい改善を進めてほしい。
 ・家庭の課題も大きく児童の姿に影響する。いじめ・不登校の未然防止のため、早期発見に今後も取り組みを

平成29年度 神田小学校 学校自己評価書

学校経営理念：知・徳・体、バランスのとれた人間育成と信頼される学校づくり

学校教育目標：知・徳・体の基礎を育み、学びに挑戦する子どもをめざして

評価：4…目標を上回って達成した 3…目標どおりに達成した 2…目標を少し下回った 1…目標を大きく下回った

長期	短期経営目標	重点施策等	評価	経営目標の現状（到達状況・改善方策等）
知： 確かな学力	授業改善・指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> 各種テストの実施 テスト結果の分析等 職員研修の充実ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 学力調査等の結果は、ほぼ全国平均を上回る成績を残した。 全職員で分析した「強み・弱み」にもとづいて、学力を高めるために、多くの問題に取り組んだ。 苦手な単元も集中して学習した。 得られた成果を全職員で共有し、授業改善を進めた。
	算数少人数指導による学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 学び重視型算数少人数指導の実施 補充学習の充実ほか 	4	<ul style="list-style-type: none"> 少人数指導により、学習意欲と学力が向上した。 じっくりコースとぐんぐんコースの成果率90%を多くの単元で達成し、全体の学力を向上させた。 算数教室を設置して、低学力層への対応を進めると共に、自主的な学習を促進し、D層10%以下を多くの学級で達成した。
	読書の意欲向上	<ul style="list-style-type: none"> 朝の帯時間読書 読書登山の取組 読書活動等の取組ほか 	4	<ul style="list-style-type: none"> 図書委員会が学期1回の図書館イベントを実施したり、貸出目標や読書登山の学年目標を設定して、読書意欲を高めた。 学校図書館支援事業の「読み聞かせ・ブックトーク」等を活用し、各学年が学期1回以上、授業に図書室を活用した。 一人あたりの貸出冊数が、37.5冊まで伸びた。
	特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画の作成 特別支援教育の研修 他機関等との連携ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 毎学期、個別の指導計画を作成し、保護者との共通理解を図った。 特支学級の授業を公開し、特別支援教育について研修を深めると共に、各学級で生かせる指導を学んだ。 巡回相談やくわな特支学校の指導助言を児童の指導に生かした。 校内特別支援委員会で研修を深めた。
徳： 豊かな人間性	道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画の策定 各教科、領域との関連 道徳の時間の充実ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画にもとづいて35時間以上を実施した。 年間5回の全校集会は、学年と委員会の活動発表や全校児童の生活指導を通して、元気で安全に生活できるように指導した。 児童会による「神田小ネットルール」を作成した。 情報モラル教育の取組により、ネットいじめは発生していない。
	人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育推進計画策定 ソーシャルスキルの育成 Q U調査の活用ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画とカリキュラムを作成し、全教育活動を通して推進した。 6年生においては、人権フォーラムを契機に他校の実践に学び、自校の取組を高めたことができた。 毎月曜日に定例化して、各学級でSSTに取り組んだ。 Q U調査の分析をもとに、個への対応と仲間づくりを進めた。
	児童生徒の自主的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 児童会、生徒会活動 縦割り班活動等 部活動等ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 児童会行事・運動会全校種目・全校討論会の企画運営を通して、児童のリーダー性を育てた。 児童会を中心に、全校で「あいさつ運動」に取り組み、あいさつの声を増やした。
	生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> いじめ不登校の早期対応 縦割り班活動等 部活動等ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 児童会行事・運動会全校種目・全校討論会の企画運営を通して、児童のリーダー性を育てた。 児童会を中心に、全校で「あいさつ運動」に取り組み、あいさつの声を増やした。
体： 健やかな体	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストの実施・分析 各種体育的行事の実施 東員なわとび検定ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 「体力テスト」は、8種目中6種目で三重県平均を上回った。 目標に到達できなかった児童に「特別水泳」を実施し、泳力を伸ばした。 「東員なわとび検定」は、全校統一して体育の授業や冬休みの課題に位置づけて、意欲的に体力向上に取り組んだ。
	保健教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育 計画的な保健指導 保健だよりの発行ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導として、全学年に「歯磨き」「手洗い」を指導した。給食後の歯磨きが定着している。 感染症の流行時に、手洗いやマスクの重要性も啓発し実践した。 年3回の発育測定を機会に、「健康」について指導し、自分の身体について関心を高めた。
信： 信頼される学校	開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケート 学校自己評価の実施 学校評議員会の開催ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 児童のようすを見られた学校評議員に、学校関係者として、教育活動全般や学校自己評価書について、意見をいただいた。 学校関係者（学校評議員）の意見を改善活動に生かし、教育活動を一層充実させている。 児童と保護者にアンケートを実施し、学校経営の改善に生かした。
	安全・安心な学校	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全、防犯、防災教室の実施 けが、病気へのていねいな対応ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> けがや病気には、迅速かつ丁寧な対応を心がけた。 「防犯教室」を実施して、児童への安全指導の充実を図った。 安全ボランティア（約160名）の協力を得て、学校・地域・保護者の3者が連携し、児童の安全をはかった。

学校関係者評価委員 意見より	<ul style="list-style-type: none"> 神田小の子ども達の学力状況は全国平均を上回り、向上している。 →少人数指導の継続。「学び合う」関係性の育成。補充学習と家庭学習の充実。 「あいさつ」は思いやりにつながるので大事にしたい。さらにできる子を増やしていきたい。 →家庭の中であいさつが交わされているか？ 地域であいさつするよう家庭で指導していこう！ ていねいな言葉づかいや敬語は、最低限のマナーとして身に付けさせたい。
-------------------	---

平成29年度 笹尾西小学校 学校自己評価書

学校経営理念：学力向上とコミュニケーション能力の育成を図り、信頼される学校づくりを行う。

学校教育目標：自ら考え 行動する子

評価：4…目標を上回って達成した 3…目標どおりに達成した 2…目標を少し下回った 1…目標を大きく下回った

長期	短期経営目標	重点施策等	評価	経営目標の現状（到達状況・改善方策等）
知： 確かな 学力	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 合格点に達しない場合は、再度復習を行う。 朝学習の充実する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 市販のテストに於いて、国語については、1学期80%、2学期が93%、算数は1学期が97%、2学期94%の到達度であった。 朝の学習は毎日実施した。 家庭学習の習慣化をすすめ、95%の児童が家庭学習の習慣化が図られた。
	授業改善・指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画に基づき、「学びの共同体」の研修を実施する。 算数少人数授業の実施する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業において、具体的な子どもの姿もとに研修を行うことができた。 少人数教育では、打ち合わせの時間を設定して、授業の進め方を統一し、系統的な指導を行い学力向上を図った。
	家庭学習の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> 学習時間の内容や目安の便りを配布する。 学期に1回、家庭学習強化週間を実施する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習を各学年の目標時間通り取り組めた児童は95%であった。 今後も日頃から学習時間を意識するように伝えたり、保護者への啓発を大切にしていく。
	読書の意欲向上	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動の推進する。 読書登山読書週間を設定し、取り組みを進める。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 12月までの全行貸し出し冊数は、213冊増えた。 図書支援員の協力により、教科書にのっている本のコーナーなどをつくったりした。 読書登山週刊を年間6回設け、朝読書で全員が読書登山の本を読んだ。
徳： 豊かな 人間性	道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学年に応じた計画を作成し実践する。 「道徳」の教科化にむけて教員研修を行う。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 道徳年間計画を作成し、共有化も図っている。特に今年度は来年度から道徳が教科化を見据えて、年間指導計画を大幅に見直した。 教科化にむけて円滑な導入ができるように、学習会をもった。また、県や町の主催する学習会に参加した。
	人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育全体計画及び年間計画を作成する。 人権教育カリキュラムを実践する。 Q U調査を学期1回、年間3回実施する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育全体計画及び年間計画を作成し、すべての教育活動の中心に据えた人権教育実践を行った。 「校内人権週間」を設定し、集中的に人権について考える機会を設けた。 Q U調査を行い、全教員で共有化する研修会を行った。
	コミュニケーション力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 友だちとの関わり方や自己肯定感を高めるための授業を実施する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にソーシャルスキルトレーニングを実施し、関わる力の育成を図った。
	児童生徒の自治的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝、児童会による挨拶運動の実施する。 縦割り班活動【縦割り班遊びや運動会の縦割り班競技】の実施する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 児童会を中心に「挨拶運動」を行った。 毎週金曜日になかよしタイムをもち、縦割り班遊びを行い、異年齢集団の育成を図った。 運動会で縦割り班競技を行い、6年生のリーダーシップを図ると共に、コミュニケーション能力の育成を図った。
体： 健やかな 体	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 全校で体力・運動能力調査を実施する。 基礎的な運動の到達度を調査し集約。指導に生かす。 東員町のなわとびカードを利用し、全校で取り組む。 	2	<ul style="list-style-type: none"> 体力づくりチェック（目標達成全校75%）に取り組んだ。 体力・運動能力調査を行い、昨年度の結果と一緒に「成長の記録」として渡した。 「東員なわとび検定」に取り組んだ結果1級到達度は、2年68%、4年61%、6年16%で、達成率が低く、取り組み方法の改善が必要。
	保健教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 保健教育の年間計画を立案する。 栄養教諭と協力し、食育指導や給食指導を全学年で実施。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 歯みがき指導を毎日校内巡視を行いながら行った。 自分の将来の健康を保持増進するためだということを中心に学習した。 各学年2時間の指導を実施し、高学年では班活動の中で話し合うことを中心に学習した。
信： 信頼される 学校	開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域住民などの学校関係者の意見や評価を受ける。 応援隊の協力を依頼する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員・学校関係者評価委員会を年間2回ずつ実施し、ご意見やご助言をいただいた。 学校アンケートの実施ならびに学校評議員・学校関係者評価委員による評価を受けた。 年間100人以上の応援隊に協力をいただいた。
	安全・安心な学校	<ul style="list-style-type: none"> 下校パトロールを継続実施。 交通安全教室、防災訓練、引き渡し訓練を実施する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度同様、PTAによる登下校のパトロールを行い、児童の安全を図った。 年に1回、引き渡し訓練、交通安全教室、学期に1回防災訓練を実施した。

学校関係者評価委員意見より	<ul style="list-style-type: none"> 先生が落ち着いた丁寧な言葉遣いで、授業を進めているので、子どもたちが安心して授業を受けることができる。 保護者のアンケート結果も児童のアンケート結果も、よい方向に出ている。 挨拶は、いつもする子としない子とが決まってきた。たぶんアンケートの結果から見ると、子どもたちは挨拶をしているつもりになっているが、大きな声で挨拶をしていないので聞こえていないのかもしれない。もう少し大きな声で挨拶できるとよい。
---------------	--

平成29年度 **笹尾東小学校** 学校自己評価書

学校経営理念：知・徳・体、バランスのとれた人間育成と信頼される学校づくり

学校教育目標：自ら学び、関わる力を育てる

評価：4…目標を上回って達成した 3…目標どおりに達成した 2…目標を少し下回った 1…目標を大きく下回った

長期	短期経営目標	重点施策等	評価	経営目標の現状（到達状況・改善方策等）
知： 確かな 学力	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的内容の反復学習 帯時間学習 東員まなび検定ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習では、国語と算数の教材を使用し、毎日取り組むことで基礎学力の向上を目指した。漢字博士大会で85点を上回り、計算博士大会では正答率を90%以上であり、その成果を出すことができた。 単元ごとに「ジャンプコース」と「ホップコース」への希望をとり自ら学ぼうとする意欲を育てる算数少人数の編成を行った。
	授業改善・指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> 各種テストの実施 テスト結果の分析等 職員研修の充実ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> すべての学級において、年2回の研究授業を行った。「学び合い」の授業スタイルの統一に向けて取り組み、一定の成果を得た。 学校評価アンケートの「授業がわかる」の項目において、90%と高い数値を得るなど全体としては、目標を下回るものもあったが、多くの取り組みにおいて、概ね達成できた。
	家庭学習の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の手引き発行 家庭学習の指導 ノート指導ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の手引きを作成・配布し、保護者にも協力を呼びかけ、共に定着を図った。 学校評価アンケートの「家庭学習（宿題）に忘れずに取り組む」と思う児童は88%である。「忘れずに取り組む」ということについては、どの学級でも忘れてくる子はほぼいない。
	読書の意欲向上	<ul style="list-style-type: none"> 朝の帯時間読書 読書登山の取組 読書活動等の取組ほか 	2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者ボランティア、はつねの会、図書支援員による読み聞かせや本の紹介を月2回以上行うことができた。 「読書が好きである」と答えた児童は76%と昨年度より減少した。 6年生の読書登山60冊達成者は、1月の時点で35%となっているため、読書登山を意識した読書活動を進め改善して行く必要がある。
徳： 豊かな 人間性	道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画の策定 各教科、領域との関連 道徳の時間の充実ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度の教科化に向け、道徳の全体計画や年間指導計画、別業の見直しを行った。 道徳の時間以外にも、あらゆる教育活動を通して、児童の心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うことを意識して、指導を行った。
	人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育推進計画策定 「いじめ防止基本方針」 特別支援教育の充実ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育推進計画及び各学年の年間計画を策定し、これに基づいて取り組めた。 人権週間は、全校共通の取り組みと各学級の実態に応じた取り組みを行った。 特別支援教育推進委員会を定期的に開催した。
	コミュニケーション力の向上	<ul style="list-style-type: none"> SSTの実施 Q-U調査の実施 あいさつ運動の実施ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> Q-U調査の分析を行い学級づくりを進めた。交流会では、全職員が児童や学級の様子を共通理解し、指導に生かした。 SST、ほめ言葉のシャワー、学級遊びなどを目標通りに行い、仲間づくりを進めることができた。
	児童生徒の自治的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 児童会、生徒会活動 縦割り班活動等 部活動等ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の児童議会の中で、児童会目標を立て、どのようにすれば目標を達成できるのか、話し合うことができた。 縦割り班遊びは予定通り行った。遊びの後には、必ず反省を自分たちの姿について見直すことで次の遊びにつなげることができた。 全校集会の場で、委員会の取り組みを発表した。
体： 健やかな 体	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストの実施・分析 各種体育的行事の実施 東員なわとび検定ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 5月実施の新体力テストの結果は、総合評価C以上81%と目標値を6ポイント上回ることができた。 年間計画で、プール実施期間に水泳の授業数を増やした。学年別目標の達成率は、80%であった。 東員なわとび検定では、5級達成が80%を上回った。
	保健教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育 計画的な保健指導 保健だよりの発行ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導計画に沿って保健学習を実施した。 昼食後のほみがきは毎日実施した。 基本的な生活習慣作りでは、長期休み中の健康貯金を年に2回実施した。また1月にノーメディアをめざす取り組みを実施した。 食育指導は、給食センターと連携し、各クラス1回ずつ実施した。
信： 信頼される 学校	開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケート 学校自己評価の実施 学校評議員会の開催ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートの結果を公開し、現状の周知を図った。 学校評価アンケートで「学校の様子がわかる」は98%であった。 学校評価アンケートを実施し、結果と学校改善について保護者・地域へ発信を行った。 8月と3月に関係者評価委員会（評議委員を含む）を開催した。
	安全・安心な学校	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全、防犯、防災教室の実施 けが、病気へのていねいな対応ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 防災マニュアルの見直しを行い、それぞれの訓練を実施した。引き渡し訓練は幼保・学童と連携して実施した。 下校安全ボランティア会議を月1回開催し、子どもの安全な下校について話し合い、連携を図った。 子どもの怪我や病気については、適切かつ迅速に対応できた。

学校関係者評価委員
意見より

- 概ね妥当な評価がされており、その成果が見られる。この評価結果をもとに、PDCAサイクルを回し、改善に努めて欲しい。
- 昨年度に引き続き、読書指導についての評価が低いが、現状や手立てはどうか。
- 東員子どもの権利条例を子どもたちが学習していることは分かったが、大人にも周知することが必要。
- 子ども一人一人が独自の力を伸ばす時間が必要だと感じる。個性を伸ばすことを大事にして欲しい。

平成29年度 城山小学校 学校自己評価書

学校経営理念：知・徳・体、バランスのとれた人間育成と信頼される学校づくり

学校教育目標：仲間との絆を体得し 心豊かに 知性を磨き たくましく生きる子ども

評価：4…目標を上回って達成した 3…目標どおりに達成した 2…目標を少し下回った 1…目標を大きく下回った

長期	短期経営目標	重点施策等	評価	経営目標の現状（到達状況・改善方策等）
知： 確かな学力	基礎学力の定着	・基礎的内容の反復学習 ・帯時間学習 ・東員まなび検定 ほか	4	・「聴き合う集団」「参加型話し方スキル」等を育成すると共に、ペア・グループによる学び合い学習を進め、学習集団を育成した。 ・東員学び検定は1回目平均97点で、全員が合格した。 ・全学年の算数で少人数授業を実施し、11月IRT学力調査の結果では、全校平均で10.9P全国より高く、大きな効果をあげた。
	授業改善・指導力向上	・各種テストの実施 ・テスト結果の分析等 ・職員研修の充実 ほか	3	・二年間の国語研究の成果を「研修方針」にまとめ、新たな視点を加えて授業研究を行った。上記同様の調査で、7.8P高い結果となった。 ・全学級提案授業を年2回行い、主体的で対話的で深い学びにつながる授業のあり方を探求し、学力向上につなげた。 ・各学力調査の結果分析を行い、D層の支援と授業改善に生かした。
	家庭学習の習慣化	・家庭学習の手引き発行 ・家庭学習の指導 ・ノート指導 ほか	3	・「家庭学習の手引き」を作成・配付し、家庭と共に定着を図った。 ・家庭学習強化週間を各学期1回実施し、現状を見つめ直す機会にした。取組6項目の達成率は約50%であり、家庭の意識の差が伺えた。家庭学習の具体的方法等の家庭への啓発や個別の支援が必要である。家庭学習の習慣化は学力向上に不可欠なため、一層の取組を図る。
	読書の意欲向上	・朝の帯時間読書 ・読書登山の取組 ・読書活動等の取組 ほか	3	・朝の10分間読書を毎日確保し、児童が本に触れる機会を増やした。 ・図書委員会の図書スタンプラリーや読み聞かせ等の活動や、図書館専門員（リブネット）の活用により、図書室の利用児童が増加した。 ・読書登山の目標読破の取組を行い、既読冊数が増加した。 ・児童アンケートで「読書が好き」82%を更に拡大していきたい。
徳： 豊かな人間性	道徳教育の充実	・年間計画の策定 ・各教科、領域との関連 ・道徳の時間の充実 ほか	3	・年間計画を基に全教育活動を通して指導し、道徳的心情を養った。 ・人権・命・平和の教育は他教科との関連学習を全学年で実施した。 ・H30年からの道徳の教科化を見据え、道徳教育指導者養成研修に参加した。そして「考える・論議する道徳」の授業のあり方を学習した。 ・11/13～の人権週間には、人権の授業及び学級見直しを行った。
	人権教育の推進	・人権教育推進計画策定 ・「いじめ防止基本方針」 ・特別支援教育の充実 ほか	3	・人権週間で人権の授業参観を実施し、保護者への啓発を行った。 ・年4回のいじめ調査を実施し、実態把握と迅速な対応を行った。 ・「東員町子ども権利条例」を、各学年の発達段階に応じ学習した。 ・特別支援教育の研修を行い、児童理解と支援のあり方について学んだ。巡回相談やスクールカウンセラー等の関係機関と連携を図った。
	コミュニケーション力の向上	・SSTの実施 ・Q-U調査の実施 ・あいさつ運動の実施 ほか	3	・挨拶においては、一昨年度から児童会が中心となり挨拶幟・集会等の取り組みを行い、現在も大きな声で挨拶をする児童が増えている。 ・年間3回のQ-U調査を実施し、実態把握と仲間づくりを進めた。 ・毎週金曜のSST実施で、児童のコミュニケーションスキルや社会性の育成を図った。また、適宜「人との関わり方」を指導した。
	児童生徒の自治的活動の充実	・児童会、生徒会活動 ・縦割り班活動等 ・部活動等 ほか	4	・全校活動を位置付け、高学年のリーダー性や自主性を育てた。上級生の姿が下級生の学びに繋がり、児童から児童へと浸透している。 ・運動会縦割り種目・応援、縦割り班遊び等を通して、異年齢集団の自主的活動に取り組み、高学年のリーダー性や企画運営力を培った。 ・児童会、委員会活動等により、児童主体の学校づくりを推進した。
体： 健やかな体	体力の向上	・体力テストの実施・分析 ・各種体育的行事の実施 ・東員なわとび検定 ほか	3	・体育の授業では、新体力テスト課題克服・運動量確保を実践し、全国体力テストでは女子が全8種目とも全国平均を上回った。 ・運動会、マラソン、縄跳びの取組では、全校や縦割りでの練習を有効活用し、児童の身体と心の育成を図った。 ・東員縄跳び検定では、のべ59名のボランティアさんの協力を得た。
	保健教育の推進	・健康教育 ・計画的な保健指導 ・保健だよりの発行 ほか	3	・年間3回の生活習慣の取組と日常的な保健指導や児童委員会の働きかけにより、1日3回の歯磨きの定着や感染症予防の知識が深まった。 ・4年生以上81.8%の児童は「健康のため食事・運動・睡眠・休養が大切であること」を理解し、意識した生活を送ることができた。 ・給食指導、食育、弁当作りの指導を実施し、食の意識が高まった。
信： 信頼される学校	開かれた学校	・学校評価アンケート ・学校自己評価の実施 ・学校評議員会の開催 ほか	4	・創立30周年行事を開催し、保護者と地域の方々の参画を得て、地域と共に歩む学校づくりの節目となった。 ・保護者と児童アンケートを実施し、その結果を分析しおこなった。 ・年度末活動総括と学校自己評価を実施し、PDCAを確立した。 ・学校評議員会を年2回開催し、様々な視点からの意見を頂いた。
	安全・安心な学校	・交通安全、防犯、防災教室の実施 ・けが、病気への的々い対応 ほか	3	・学校安全ボランティア(80名)を組織し下校見守り活動を実施した。 ・PTA交通当番活動の実施により、無事故で安全な登校ができた。 ・避難訓練2回、引渡し訓練1回、防災教室各1回を実施した。 ・学校でのけがや病気について速やかに対応し、保護者への連絡や説明も適切に行った。首から上のけがは、原則病院で受診した。

学校関係者評価委員 意見より	<ul style="list-style-type: none"> ・知・徳・体バランスの取れた人間形成を推進し、その成果が十分見られ、概ね妥当な評価となっている。 ・子どもたちをきめ細やかに丁寧に指導し、一人ひとりに愛情をかけ、大切に教育していることが伺える。 ・30周年行事に見られるように、地域との交流も充実し、開かれた学校づくりに向けた努力をしている。 ・教職員の意欲と誠実さを感じ、子ども・保護者との信頼関係づくりを大切にしていることが伺える。 ・学校からの情報発信と地域との交流をさらに深め、地域と共に歩む学校づくりを推進していただきたい。
-------------------	--

平成29年度 東員第一中学校 学校自己評価書

学校経営理念：生徒が主役 地域と共に成長する学校

学校教育目標：自主・自立・自律 ～自らの未来を語れる生徒を育てる～

評価：4…目標を上回って達成した 3…目標どおりに達成した 2…目標を少し下回った 1…目標を大きく下回った

長期	短期経営目標	重点施策等	評価	経営目標の現状（到達状況・改善方策等）
知： 確かな学力	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的内容の反復学習 帯時間学習 	2	<ul style="list-style-type: none"> 全校帯学習「朝チャレンジタイム」を実施。数学・英語の自主作成問題にスパイラルで取り組む。 書く力の育成のため「天声人語の視写」を全校実施。 各教科において、小テストや前時復習などをスパイラルで行った。 D層が10～14%存在し、改善に課題を残した。
	授業改善・指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> 各種テストの実施 テスト結果の分析等 職員研修の充実ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 男女4人の小集団を基本とした共同的な学びの研究を進めた。 学園・IRTテスト等の結果を全職員で詳細に分析検討を行った。定期テストに「中央値を活用」した新たな分析方法を継続して、4層の得点分布を授業改善に活かした。 授業がわかる アンケート結果 89.2% (H29) と伸びる。
	家庭学習の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の手引き発行 家庭学習の指導 ノート指導ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 自主学習ノート・テキスト学習の取り組みの基準を示し、取り組みの徹底が進んだ。 家庭学習に関するアンケート結果が昨年度より2ポイント上がった。 家庭で机に向かう時間が増えた。また、定期テスト期間の家庭学習スタイルが自分なりにできつつあり、テストでの成果がみられた。
	読書の意欲向上	<ul style="list-style-type: none"> 朝の帯時間読書 読書登山の取組 読書活動等の取組ほか 	2	<ul style="list-style-type: none"> 読書登山への新たな取り組みとして、学級文庫に読書登山の本を置くことにした。 校内図書館の貸し出し冊数は向上が見られるが、まだまだ目標に達しない。リブネットの図書指導員との連携を充実させ図書委員会活動などを活性化しノウハウを今後引き継いで、さらに充実していく。
徳： 豊かな人間性	道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画の策定 各教科、領域との関連 道徳の時間の充実ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 全校道徳や道徳集中学習期間を設定し、全校が共通課題で学習を行い、様々な道徳的価値について学ぶことができた。 道徳学習に全校がKJ法を学び積極的に活用できるようになった。 QUアンケートなどからも、これまで出せなかった苦しみを出せる生徒が増えてきたことがわかる。
	人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育推進計画策定 「いじめ防止基本方針」 特別支援教育の充実ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育指定校事業をきっかけに「人権教育カリキュラム」の見直しを行い、人権の3側面についても整理できた。 沖縄修学旅行で、大学生とのディスカッションで、現代の問題についても考えを深めることができた。 いじめ基本方針の見直しにより、学校体制での取り組みを強化した。
	コミュニケーション力の向上	<ul style="list-style-type: none"> SSTの実施 Q-U調査の実施 あいさつ運動の実施ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 年3回QU調査を実施し、結果の分析研修を充実させ、学級経営や個々の生徒への具体的な支援につなげた。これにより、どの学級でも一学期よりQU調査の結果が改善された。 生徒会生活委員会が継続的に実施され、本年度は、校区小学校と連携を進めた。アンケートの結果も2.2ポイント上がっている。
	児童生徒の自主的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 児童会、生徒会活動 縦割り班活動等 部活動等ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自ら取り組んだ「一中ネットルール宣言」は、居心地の良い学校づくりに向けた生徒の主体性を育てた。 体育祭エイサー演舞の成功に向けて3年生が全校のリーダーとなり、1・2年を指導する縦割活動を通じリーダーの育成が進んだ。 99%の保護者がこうした活動を肯定的に見ている。
体： 健やかな体	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストの実施・分析 各種体育的行事の実施 東員なわとび検定ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 強制ではないが、部活動に90%以上の生徒が加入している。部活動の満足度は生徒が88.9%と高い。 スポーツテストを実施し、結果を生徒一人ひとりに渡して弱点を伝え指導している。 体育の時間、準備運動の後に種目にあった補強運動を行っている。
	保健教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育 計画的な保健指導 保健だよりの発行ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> いなべ総合病院の川村先生を招いて命について考える講演会を開催した。 保健だよりの定期発行、保健室の整備を推進した。 健康面の保護者の満足度は98.8%と高い。さらに、感染症や食物アレルギーなどへの対応の職員研修を進めていく。
信： 信頼される学校	開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケート 学校自己評価の実施 学校評議員会の開催ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりを毎週発行すると共に、生徒の「プリント配り隊」を組織して学校関係者へ学校の様子を定期的に発信した。 学校評議員会を年3回、関係者評価委員会を年2回、また授業参観及び公開研究会にも関係者の方々に参観をしていただいた。 学校の意図やねらいが保護者の96.3%に理解されている。
	安全・安心な学校	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全、防犯、防災教室の実施 けが、病気へのていねいな対応ほか 	3	<ul style="list-style-type: none"> サイバー犯罪の専門家である藤原先生の継続的な指導をいただき、「一中ネットルール宣言」を全校生徒でつくり、地域に発信することができた。 ケガや急病時における、複数対応の徹底がはかれた。 交通事故0を目指し、達成することができた。さらに学校体制での指導を徹底していく。

学校関係者評価委員意見より

- 一中ネットルール宣言はユニーク。ルールを押しつけるのではなく、生徒が考えて生み出していくことが意義深い。
- 合唱祭や体育祭で見られる生徒の真剣な姿が素晴らしい。「自主・自立・自律」に近づいている。
- 階段や廊下に、たくさん花が飾られている。落ち着いた学校だからこそできることで、素晴らしい。
- 未来を担う大切な宝（子ども）を預かっているという思いをもって、安全対策に取り組んでほしい。
- 道路で、小学生と中学生があいさつできる関係性を育ててほしい。
- 地域でのあいさつ運動の推進は、高齢者が生き生きとすごせる町づくりにもつながる大切な取り組みである。

平成29年度 東員第二中学校 学校自己評価書

学校経営理念：知・徳・体、バランスのとれた人間育成と信頼される学校づくり

学校教育目標：知性豊かで、ひびきあい、喜び合い、ねばり強くやりぬく生徒を育てる

評価：4…目標を上回って達成した 3…目標どおりに達成した 2…目標を少し下回った 1…目標を大きく下回った

長期	短期経営目標	重点施策等	評価	経営目標の現状（到達状況・改善方策等）
知： 確かな 学力	基礎学力の定着	・基礎的内容の反復学習 ・帯時間学習 ・東員まなび検定 ほか	3	・各種調査において、概ね全国・県平均を上回ることができた。 ・朝学習や放課後学習、土曜学習を活用し、基礎学力の定着・向上を図るための取り組みを継続して実施することができた。 ・少人数指導では、一部習熟度別指導を行うなど、学力層Dの割合を減らす取組を行うことができた。
	授業改善・指導力向上	・各種テストの実施 ・テスト結果の分析等 ・職員研修の充実 ほか	3	・IRTやみえスタディチェック、全国学調などの結果について、詳細に分析し強みや弱みを把握するとともに、授業改善、教材開発、定期テストの工夫などに努めた。 ・全教員が授業を公開し研修をおこなうとともに、今年度は主体的に課題に向き合うために「私らしさが溢れる授業づくり」を意識した授業づくりに努めることができた。
	家庭学習の習慣化	・家庭学習の手引き発行 ・家庭学習の指導 ・ノート指導 ほか	3	・基礎学力の定着・向上のために、課題（宿題やテキスト）を出し、丁寧に点検をおこなうなど、家庭学習の定着に努めた。 ・家庭学習ができない生徒や課題提出が出来ない生徒については、個別指導をねばり強く行った。 ・家庭学習の量等については、個に応じた配慮を行った。
	読書の意欲向上	・朝の帯時間読書 ・読書登山の取組 ・読書活動等の取組 ほか	2	・朝読書については、日常的に実施することができたが、家庭での読書習慣に結びつけることはできなかった。家庭で読書をする生徒は、どちらかという読む方であると答えた生徒は約40%であった。 ・読書登山の取り組みは、生徒の図書委員会を中心に工夫した取り組みを実施したが、時間的な関係からも難しかった。
徳： 豊かな 人間性	道徳教育の充実	・年間計画の策定 ・各教科、領域との関連 ・道徳の時間の充実 ほか	3	・教科化を見据えた研修を行い、実施に備えることができた。 ・視聴覚教材を含めて教材（資料）開発に努め、生徒の実態に対応して教材選択が行うなど、有意義な取組となるよう検討を行うと共に、教材の蓄積を図った。 ・年間計画に基づきつつ、学校行事や学級の実体に応じて、道徳の指導内容を工夫しながら取り組むことができた。
	人権教育の推進	・人権教育推進計画策定 ・「いじめ防止基本方針」 ・特別支援教育の充実 ほか	3	・年間計画に沿って、人権学習に取り組むことができた。 ・日常の学校生活や教育活動・行事を通じて、「人権」を尊重した生き方が出来るよう努めた。 ・いじめをはじめとする人権を侵害する事案が少なからずあった。対応が難しい課題も残っているが、ねばり強く解決に向かいたい。
	コミュニケーション力の向上	・SSTの実施 ・Q-U調査の実施 ・あいさつ運動の実施 ほか	3	・PTAの活動と運動して、生徒会であいさつ運動「おはようTues day」を計画的に実施しすることができた。日常生活のなかでもよくあいさつができてきている。 ・定期的実施するQ・Uについて、その結果を分析し学級づくりに活用することができた。また、学校全体での情報交流・研修を行うことができた。
	児童生徒の自主的 活動の充実	・児童会、生徒会活動 ・縦割り班活動等 ・部活動等 ほか	4	・体育祭、合唱祭など生徒会が主体となって取組、集団としての成長が見られた。特に本年度は、上級生がリーダーシップを回り、縦割りの活動を多く取り入れる事で集団としての力が高まった。 ・日常の委員会活動においては、給食や掃除、授業への取り組みを積極的に実施し、充実したものにする事ができた。 ・限られた時間の中での部活動であるが、充実した活動ができた。
体： 健やか な体	体力の向上	・体力テストの実施・分析 ・各種体育的行事の実施 ・東員なわとび検定 ほか	3	・体力テストにおいて、設定した目標を達成できた種目もあるが、県平均や全国平均に達していない項目があり、今後も継続的な改善が必要である。また、今年は、全校縦割りで上級生が手本を見せながら意欲的に行うことができた。 ・体育の授業やマラソン大会、部活動を通じて体力の向上に努めた。
	保健教育の推進	・健康教育 ・計画的な保健指導 ・保健だよりの発行 ほか	4	・年間通じて、生徒の心身の発達や健康について留意した活動を行うことができた。アレルギー対応も丁寧に行うことができた。 ・食育年間計画を職場全体で見直すことができ、意識を高めた。 ・季節や時期に応じて「保健だよりの発行し、健康保持のための啓発をおこなうことができた。
信： 信頼 される 学校	開かれた学校	・学校評価アンケート ・学校自己評価の実施 ・学校評議員会の開催 ほか	3	・年間の計画通り、各種調査を実施した。 ・学校自己評価を行うことで、継続的な改善活動をおこなうことができた。 ・学校評議員会を予定通り開催し、広く意見を聞くことができた。
	安全・安心な学校	・交通安全、防犯、防災 教室の実施 ・けが、病気へのていねいな対応 ほか	4	・計画的に、交通安全教室や防犯・防災教室、訓練を実施することができた。今年は、PTAとも連携し、防災学習会を講師を招聘して実施した。 ・スマホに潜む危険性を、講師を招聘し2回実施した。今後も繰り返し指導していく必要を切に感じている。また、今年は、生徒会を中心にSNS使用のルールづくりを行い、保護者にも呼びかけを行った。 ・怪我等に対しては、適切な対応ができた。

学校関係者評価委員 意見より	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホやネットに関する犯罪が後を絶たない中、メディアに関する学習等の取り組みは、安心安全な学校運営を進める上で評価できる部分である。今後も継続して、生徒、保護者ともに取り組みを進めて欲しい。 ・相談したい保護者の割合が、かなり低下しています。真摯に受け止め対応を願います。 ・学びについて積極的に取り組む先生方、それに対する生徒の姿が授業参観などでも感じられます。この環境を大切に、子ども達がのびのびと学習できることを期待します。 ・体育祭、合唱祭、部活動を通して、親として子ども達が上下、横の関係が仲間としてどうまとまっていくか悩みながらず少しずつ進んでいく姿を見られました。将来、社会でもまれていくであろう自分たちにとって大事なことだと思います。そんな子ども達をこれからも温かく見守っていただければ幸いです。
-------------------	--

資 料 編

目 次

	ページ
1 教育委員会の審議内容（議案）	1
2 教育委員会の審議内容（報告）	2
3 教育委員会の審議内容（後援）	3
4 平成29年度 児童・生徒・園児数、学級数	4
5 児童、生徒数の推移	5
6 平成29年度 教職員数	5
7 学校教育施設の状況	6
8 学校教育施設一覧	6
9 社会教育施設一覧	7
10 指定文化財一覧	7
11 社会教育施設の利用状況	8
12 図書館の利用状況	9

1 教育委員会の審議内容（議案）

番号	件名	提出年月日
1	東員町郷土資料館設置及び管理に関する条例の制定について	平成29年4月24日
2	東員町郷土資料館設置及び管理に関する条例施行規則の制定について	平成29年4月24日
3	平成29年度東員町教育予算(一般会計補正予算第1号)について	平成29年5月23日
4	東員町奨学金の給付について	平成29年6月27日
5	笹尾コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	平成29年7月20日
6	平成30年度使用 小学校教科図書「特別の教科 道徳」の採択について	平成29年7月20日
7	平成28年度東員町教育委員会事務事業点検・評価報告書について	平成29年8月22日
8	教育委員会の委員の任命について	平成29年8月22日
9	平成29年度東員町教育予算(一般会計補正予算第2号)について	平成29年8月22日
10	就学援助額及び認定基準について	平成29年8月22日
11	東員町学校施設整備計画検討委員会設置要綱の制定について	平成29年11月7日
12	平成30年度 東員町教育基本方針(案)について	平成30年2月26日
13	平成29年度 東員町教育予算(一般会計補正予算第6号)について	平成30年2月26日
14	平成30年度 東員町教育予算(一般会計当初予算)について	平成30年2月26日
15	平成29年度末教職員人事異動について	平成30年2月26日

2 教育委員会の審議内容（報告）

番号	件名	提出年月日
1	平成28年度中学校卒業生進路状況報告について	平成29年4月24日
2	平成29年6月定例議会の報告について	平成29年6月27日
3	図書館の休館及び貸出期間の延長について	平成29年8月22日
4	平成29年9月定例議会の報告について	平成29年10月2日
5	新郷土資料館の開所式について（案内）	
6	トウインヤエヤマザクラ（第1号）について	平成29年11月7日
7	平成28年度 問題行動等調査の結果報告について	
8	平成29年度 全国学力・学習状況調査 町独自分析について	
9	平成30年度以降の「土曜授業」について	
10	平成29年12月定例議会の報告について	平成29年12月20日
11	年末年始の図書館の貸付期間延長について	
12	平成30年度 東員町外国語活動の展望について	
13	保育施設の利用定員の変更及び平成30年度保育園・幼稚園の園児数について	平成30年1月25日
14	陸上競技場の利活用について	
15	平成30年3月定例議会の報告について	平成30年3月27日
16	平成29年度全国体力・運動能力等調査結果について	
17	平成29年度総合学力調査（3学期版）の結果について	
18	指定管理の指定について	

3 教育委員会の審議内容（後援）

番号	件名	提出年月日
1	「第13回 AMF 2017」の後援について	平成29年4月24日
2	「第36回とういん寄席」の後援について	
3	「夏休み親子電気実験教室」の後援について	平成29年5月23日
4	「第62回三重県高等学校演劇大会北勢地区大会」の後援について	
5	「第5回保護者のための特別支援教育」の後援について	
6	「岡田水彩画グループ 合同展」の後援について	
7	「夏のエコフェア2017」の後援について	平成29年6月27日
8	「北勢線夏休み親子ツアーズ」の後援について	
9	「第22回三重県歯科保健大会」の後援について	
10	「第23回いなべ五陶会」の後援について	
11	「第27回 子供税金クイズ大会」の後援について	平成29年7月20日
12	「第2回 公募学生書道展」の後援について	
13	「第9回 ほのぼのコンサート」の後援について	
14	「第5回 コスモスサロンコンサート」の後援について	
15	「モラロジー生涯学習セミナー」の後援について	平成29年8月22日
16	「第44回 みえけん人形劇フェスティバル いなべ会場」の後援について	
17	「いなべファミリー税金クイズ大会」の後援について	
18	「ライツ2017反差別のつどい」の後援について	平成29年10月2日
19	「ジョイントコンサート」の後援について	平成29年11月7日
20	「家事家計講習会」の後援について	
21	「三重県立いなべ総合学園高等学校吹奏楽部第12回定期演奏会」の後援について	平成29年12月20日
22	「マリアボーイズ&ガールズコンサート」の後援について	
23	「教育講演会 7ヵ国語で話そう」の後援について	
24	「混声合唱団カンタービレくわな第10回定期演奏会」の後援について	
25	「みえ子育てホットフォーラムin東員（仮）～“イライラ”を“ニコニコ”に変える子育てのコツ～」の共催について	平成30年1月25日
26	「Dance studio a☆mieux 6th Exhibition」の後援について	
27	「子どものためのクラシックコンサート」の後援について	
28	「第25回 春の文協まつり」の後援について	平成30年2月26日
29	「飛龍東員太鼓30周年記念公演会」の後援について	
30	「子どもアイデア楽工多度西カリキュラム無料体験会」の後援について	
31	「教育講演会のご案内」の後援について	平成30年3月27日
32	「いなべ五陶会作品展」の後援について	
33	「第55回 教育者研究会（三重会場）」の後援について	
34	「第14回 AMF 2018」の後援について	

4 平成29年度 児童・生徒・園児数、学級数

()は特別支援学級：外数 ※学級数は実学級数 平成29年5月1日現在

小学校	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計			
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	学級数	
三和	(1) 27	(0) 1	(0) 27	(0) 1	(0) 33	(0) 1	(2) 29	(2) 1	(0) 32	(0) 1	(0) 25	(0) 1	(3)	173	(2)	6
稲部	(1) 42	(0) 2	(1) 31	(0) 1	(0) 30	(0) 1	(3) 41	(1) 2	(2) 36	(1) 1	(0) 33	(0) 1	(7)	213	(2)	8
神田	(2) 77	(0) 3	(4) 75	(0) 3	(4) 88	(0) 2	(5) 79	(0) 2	(2) 65	(2) 3	(4) 81	(2) 3	(21)	465	(4)	16
笹尾西	(1) 38	(0) 2	(0) 23	(0) 1	(2) 40	(0) 1	(1) 18	(0) 1	(1) 27	(0) 1	(1) 36	(1) 1	(6)	182	(1)	7
笹尾東	(2) 28	(1) 1	(2) 33	(1) 1	(0) 41	(0) 2	(0) 33	(0) 1	(0) 30	(0) 1	(0) 36	(0) 1	(4)	201	(2)	7
城山	(0) 30	(0) 1	(1) 31	(1) 1	(2) 27	(1) 1	(1) 24	(1) 1	(2) 27	(1) 1	(0) 28	(0) 1	(6)	167	(4)	6
合計	(7) 242	(1) 10	(8) 220	(2) 8	(8) 259	(1) 8	(12) 224	(4) 8	(7) 217	(4) 8	(5) 239	(3) 8	(47)	1401	(15)	50

中学校	1年		2年		3年		合計			
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	学級数	
東員第一	(3) 127	(1) 4	(6) 128	(1) 4	(2) 131	(0) 4	(11)	386	(2)	12
東員第二	(3) 87	(1) 3	(0) 99	(0) 3	(1) 105	(1) 3	(4)	291	(2)	9
合計	(6) 214	(2) 7	(6) 227	(1) 7	(3) 236	(1) 7	(15)	677	(4)	21

幼稚園	3歳児		4歳児		5歳児		合計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
三和	11	1	11	1	9	1	31	3
稲部	12	2	16	2	18	2	46	6
神田	12	3	16	3	26	2	54	8
笹尾西	10	2	17	2	15	1	42	5
笹尾東	10	2	12	2	11	1	33	5
城山	10	1	12	2	10	1	32	4
合計	65	11	84	12	89	8	238	31

小学校	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数
みなみ	0	1	0	4	0	2	0	7	0	5	23	10	23	29
いなべ	0	2	0	8	0	3	0	7	0	10	44	10	44	40
東員	0	2	0	9	0	3	0	10	0	12	0	12	0	48
笹尾第一	0	1	0	8	0	3	0	7	0	10	17	10	17	39
笹尾第二	0	2	0	8	0	3	0	7	0	10	15	10	15	40
城山	0	1	0	4	0	2	0	7	0	5	18	7	18	26
合計	0	8	0	37	0	14	0	38	0	47	94	49	94	193

5 児童、生徒数の推移

平成29年5月1日現在

小学校	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
三和	209	197	205	205	199	186	195	184	182	173	175	166	158	145	138	130
稲部	164	175	198	216	218	220	236	226	214	209	218	224	214	217	219	208
神田	415	410	397	380	412	397	412	454	463	441	468	464	443	413	401	390
笹尾西	178	186	179	182	203	189	173	179	176	169	175	167	179	159	159	146
笹尾東	239	259	264	258	261	235	223	218	206	202	205	216	209	199	197	201
城山	214	212	206	199	189	176	173	172	175	170	165	160	153	151	145	138
合計	1,419	1,439	1,449	1,440	1,482	1,403	1,412	1,433	1,416	1,364	1,406	1,397	1,356	1,284	1,259	1,213

中学校	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
東員第一	341	367	362	380	409	408	397	380	382	370	414	415	440	450	445	432
東員第二	321	296	293	298	326	318	332	328	317	315	295	281	263	274	272	291
合計	662	663	655	678	735	726	729	708	699	685	709	696	703	724	717	723

6 平成29年度 教職員数

小学校	県費教職員									町費教職員				合計
	校長	教頭	教諭	講師	養護教諭	栄養教諭	学校栄養職員	事務職員	計	非常勤講師	支援等職員	用務員	計	
三和	1	1	11	2	1	1	0	1	18	2	2	1	5	23
稲部	1	1	13	2	1	0	0	1	19	1	3	1	5	24
神田	1	1	25	4	1	0	0	1	33	1	8	1	10	43
笹尾西	1	1	10	2	1	0	0	1	16	2	4	1	7	23
笹尾東	1	1	12	1	1	0	0	1	17	4	4	1	9	26
城山	1	1	9	3	1	0	0	1	16	3	2	1	6	22
合計	6	6	80	14	6	1	0	6	119	13	23	6	42	161

中学校	県費教職員									町費教職員				合計
	校長	教頭	教諭	講師	養護教諭	栄養教諭	学校栄養職員	事務職員	計	非常勤講師	支援等職員	用務員	計	
東員第一	1	1	22	3	1	0	0	1	29	5	4	1	10	39
東員第二	1	1	19	2	1	1	0	1	26	4	2	1	7	33
合計	2	2	41	5	2	1	0	2	55	9	6	2	17	72

※1 数値は、学級数及び教職員定数（国・県費・町費）、講師等配置確認表から取得

※2 再任用は教諭数に含む。

※3 講師は非常勤職員の合計数（初任研・町単教員非常勤は除く。）

※4 用務員には委託職員も含む。

※5 非常勤講師のうち9名は県費非常勤と兼務。

※6 用務員にはシルバー人材センターも含む。

幼稚園	園長	副園長	教諭		計
			正規	臨時	
三和	1	(1)	2	1	4
稲部	1	(1)	3	0	4
神田	1	1(1)	5	1	8
笹尾西	1	1	3	0	5
笹尾東	1	1	5	0	7
城山	1	(1)	3	0	4
合計	6	3(4)	21	2	32

保育園	園長	副園長	保育士		調理員	計
			正規	臨時		
みなみ	(1)	1	3	4	1	9
いなべ	(1)	1	5	7	1	14
東員	(1)	1(1)	6	8	3	17
笹尾第一	(1)	(1)	4	5	1	10
笹尾第二	(1)	(1)	4	5	1	10
しろやま	(1)	1	5	3	1	10
合計	(6)	4(3)	27	32	8	70

7 学校教育施設の状況

平成29年5月1日現在

小学校	学級数		保有教室数		校舎		屋内運動場		校地面積 (㎡)		
	普通	特支	普通	特別	面積(㎡)	建築年	面積(㎡)	建築年	運動場	その他	計
三和	6	1	13	8	2,929	S50	801	S54	9,968	9,199	19,167
稲部	8	2	9	9	2,917	S45	802	S56	8,504	8,380	16,884
神田	15	4	15	8	3,168	S48	790	S51	11,700	5,431	17,131
笹尾西	7	2	15	10	3,919	S53	725	S53	9,000	11,483	20,483
笹尾東	8	1	18	10	4,470	S57	1,095	S58	7,670	10,828	18,498
城山	6	3	15	8	5,258	S63	983	S63	10,566	11,562	22,128

中学校	学級数		保有教室数		校舎		屋内運動場		校地面積 (㎡)		
	普通	特支	普通	特別	面積(㎡)	建築年	面積(㎡)	建築年	運動場	その他	計
東員第一	12	2	16	16	5,698	S41	1,536	S54	16,622	13,325	29,947
東員第二	9	1	27	17	7,503	S58	1,394	S58	16,760	12,127	28,887

幼稚園 保育園	学級数	教室数	園舎		校地面積 (㎡)		
			面積(㎡)	建築年	運動場	その他	計
三和	4	3	879	H13	7,125	879	8,004
みなみ	9	6	664	H13	2,242	664	2,906
稲部	5	4	506	H17	2,654	848	3,502
いなべ	11	5	578	H17	3,047	849	3,896
神田	11	6	614	H10	1,081	614	1,695
東員	18	5	1,409	H10	3,574	1,409	4,983
笹尾西	5	3	453	S55	3,093	453	3,546
笹尾第一	10	5	590	H19	4,020	590	4,610
笹尾東	5	4	553	H19	334	1,550	1,884
笹尾第二	11	6	625	H19	334	1,797	2,131
城山	4	3	600	H1	503	1,537	2,040
しろやま	9	5	333	H1	504	889	1,393

8 学校教育施設一覧

施設名	郵便番号	住所	電話番号	備考
三和幼稚園	511-0255	東員町大字長深690番地	0594-76-5319	幼保一体整備
みなみ保育園		東員町大字長深661番地	0594-76-2193	子育て支援センター、ファミリー・ホールセンター併設
稲部幼稚園	511-0244	東員町大字大木1075番地	0594-76-5318	幼保一体整備
いなべ保育園				
神田幼稚園	511-0242	東員町大字六把野新田101番地	0594-76-5317	幼保一体整備
東員保育園				
笹尾西幼稚園	511-0231	東員町笹尾西2丁目31番1	0594-76-6881	幼保一体整備
笹尾第一保育園				
笹尾東幼稚園	511-0232	東員町笹尾東4丁目28番	0594-76-3150	幼保一体整備
笹尾第二保育園				
城山幼稚園	511-0233	東員町城山1丁目44番	0594-76-4433	幼保一体整備
しろやま保育園				
三和小学校	511-0255	東員町大字長深700番地	0594-76-2292	
稲部小学校	511-0244	東員町大字大木944番地	0594-76-2004	
神田小学校	511-0242	東員町大字六把野新田100番地	0594-76-2305	
笹尾西小学校	511-0231	東員町笹尾西2丁目1番1	0594-76-2847	
笹尾東小学校	511-0232	東員町笹尾東4丁目28番	0594-76-6521	
城山小学校	511-0233	東員町城山1丁目48番	0594-76-9046	
東員第一中学校	511-0242	東員町大字六把野新田557番地	0594-76-2303	
東員第二中学校	511-0233	東員町城山2丁目1番	0594-76-5152	
東員町子育て支援センター	511-0255	東員町大字長深661番地	0594-76-1266	
とういんファミリー・ホールセンター	511-0255	東員町大字長深661番地	0594-76-2123	
東員町学校給食センター	511-0241	東員町大字鳥取1652番地1	0594-86-2200	

9 社会教育施設一覧

施設名	住所	電話番号	施設概要
東員町総合文化センター	511-0251 東員町大字山田1700番地	0594-86-2816	ホール 702席、図書館 104,971冊 駐車場 196台
笹尾コミュニティーセンター	511-0232 東員町笹尾東2丁目5番2	0594-76-8233	多目的ホール、研修室(和室) 2階会議室(1・2・3) 調理室、2階研修室、笹尾連絡所2階会議室
東員町郷土資料館	511-0233 東員町城山1丁目48番		(城山小学校北校舎内200㎡) 生活用具・農機具82点、中世城館山田城跡出土品、六把野井水古地図(写し)等を展示
東員町武道館	511-0251 東員町大字山田1600番地		柔道場、剣道場
東員町中央球場	511-0257 東員町大字北大社450番地		両翼 91m、センター 120m、照明 6基96灯
城山球場	511-0233 東員町城山3丁目4番1		両翼 80m、センター 100m
東員町中央テニスコート	511-0257 東員町大字北大社450番地		3面(セミアンツーカー)
城山テニスコート	511-0232 東員町城山1丁目47番1		6面(ハードコート2面、オムニコート4面)
東員町総合体育館	511-0251 東員町大字山田1600番地	0594-86-2819	アリーナ、卓球室、トレーニングルーム、観客室582席 会議室、更衣室、ミキサー室
東員町民プール	511-0257 東員町大字北大社428番地6	0594-76-7463	50mプール、流水プール、幼児用プール
東員町スポーツ公園陸上競技場	511-0257 東員町大字北大社323番地	0594-76-0481	全天候ウレタン舗装400mトラック、インフィールド(高麗芝) 74m×105m、固定席1,954席、サブスタンド(芝) 4,000人
城山多目的グラウンド	511-0233 東員町城山3丁目4番1		サッカーコート58m×90m、照明3基9灯
長深グラウンド	511-0255 東員町大字長深3583番地		多目的グラウンド 11,759㎡

10 指定文化財一覧

指定	種別	番号	名称	所在地	指定年月日	概要
県指定	有形	美術工芸品	1 絹本着色景川和尚像	東員町大字長深2525番地	昭和27年3月13日	明応9年(1500年)仲春に描かれ伝統的な頂相作家の筆と思われる。縦105cm、横54cm。景川和尚(1425~1500)は臨済宗の高僧である。
		美術工芸品	2 木造薬師如来坐像	東員町大字穴太731番地	昭和32年10月10日	貞観年間(870年頃)の名工作。蓮華座上に結伽跏座した高さ約90cmの一木造りの仏像。左手に薬つぼを持ち右手は施無畏の印を結ぶ。
	無形	無形民俗	1 猪名部神社上げ馬神事	東員町大字北大社797番地	平成14年 3月18日	毎年4月の第1土・日曜日に開催される。鎌倉時代、員弁郡司・員弁三郎行綱が若者の士気を鼓舞するために行ったのが始まり。
町指定	記念物	天然記念物	1 トウインヤエヤマザクラ	東員町城山1丁目18番16	平成 8年 4月17日	八重咲きのヤマザクラで奈良の八重桜に似ている。葉や花柄に毛がなく、めしべが2本あるものもある非常に希少な種。
		天然記念物	2 山田半ノ木谷イヌナシ	東員町大字山田字半ノ木谷3574番地1	平成10年 4月 3日	野生ナシの中で最も原始的な種。4月に白い花が咲き、6月には直径1cmの果実を結ぶ希少種。
		天然記念物	3 トウインヤエヤマザクラ(第2号)自生地	東員町城山1丁目47番7	平成10年 4月 3日	第1号と同種のヤマザクラ。第1号より花の色が薄く、開花時期も例年1~2週間ぐらい早い。
		天然記念物	4 観音もみじ	東員町大字瀬古泉993番地	平成24年 3月29日	生育地の古事を有する古木で、主幹が株元から3.9mは横伏しその後は7本立ちとなっている。樹齢約300年とされる。
	無形	無形民俗	2 六把野獅子舞	東員町大字六把野新田699番地	平成11年10月 10日	五穀豊穡、悪魔祓いの祈禱神事として、六把野御厨神明社に奉納される。

11 社会教育施設の利用状況

(1) 総合文化センター

(単位：人)

年度	ひばりホール		図書館					展示室
	回数	入館者	入館者	利用者	貸出冊数	利用団体数	団体貸出冊数	
29	212	20,728	96,445	37,360	180,335	26	1,251	3,503
28	183	15,958	93,257	38,555	184,953	26	1,169	3,797

年度	楽屋		リハーサル室		第1研修室		第2研修室(和室)	
	回数	利用者	回数	利用者	回数	利用者	回数	利用者
29	390	2,810	514	5,546	178	2,247	212	3,319
28	403	3,078	550	6,376	232	2,551	184	3,015

年度	第1講習室		第2講習室		第3講習室		美術工芸室	
	回数	利用者	回数	利用者	回数	利用者	回数	利用者
29	267	4,972	276	4,163	124	1,275	204	3,003
28	231	5,765	262	5,281	154	3,013	186	2,865

年度	調理実習室		陶芸室		展示コーナー	
	回数	利用者	回数	利用者	回数	利用者
29	142	2,806	135	1,218	80	2,881
28	125	2,580	139	1,175	100	4,089

(2) 笹尾コミュニティーセンター

(単位：人)

年度	1階多目的ホール		1階研修室(和室)		2階会議室1・2・3		2階調理室	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
29	674	11,803	31	372	590	6,437	16	202
28	709	12,406	35	322	611	6,605	11	87

年度	2階研修室		笹尾連絡所2階会議室	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
29	14	46	144	1,414
28	19	72	154	2,001

(3) 社会体育施設

(単位：人)

年度	総合体育館			武道館	中央テニス	中央球場	城山テニス	城山球場
	アリーナ	トレーニング室	卓球室					
29	29,984	27,615	6,587	18,845	1,715	4,294	16,012	3,743
28	30,417	25,975	5,569	17,937	1,975	4,252	15,521	3,183

年度	城山多目的グラウンド	笹尾西小ナイター	長深グラウンド	陸上競技場			町民プール	体育館会議室
				グラウンド	トレーニング室	多目的グラウンド		
29	7,553	400	2,642	26,160	49	7,042	27,293	
28	8,375	785	2,789	30,710	39	5,703	29,227	

年度	学校施設(体育館)							
	神田小	稲部小	三和小	笹尾西小	笹尾東小	城山小	一中	二中
29	5,955	7,959	4,958	6,004	7,110	11,257	7,738	11,459
28	7,338	6,869	3,126	8,742	6,348	9,025	5,150	10,171

1.2 図書館の利用状況

(1) 図書館資料 (単位：冊・点)

区分	H29年度			H28年度		
	一般書	児童書	計	一般書	児童書	計
郷土資料	1,040	—	1,040	1,035	—	1,035
総記	3,962	399	4,361	3,933	394	4,327
哲学・宗教	2,506	277	2,783	2,505	270	2,775
歴史・地理	6,110	932	7,042	6,079	938	7,017
社会	9,366	972	10,338	9,281	960	10,241
自然	4,917	2,070	6,987	4,845	2,044	6,889
工業	6,384	801	7,185	6,200	791	6,991
産業	2,689	524	3,213	2,743	522	3,265
芸術	7,795	1,306	9,101	7,697	1,300	8,997
言語	1,187	309	1,496	1,183	310	1,493
文学	28,891	11,138	40,029	28,711	11,058	39,769
絵本	—	10,677	10,677	—	10,545	10,545
紙芝居	—	719	719	—	733	733
計	74,847	30,124	104,971	74,212	29,865	104,077

雑誌	4,504	4,504	4,581	4,581
ビデオ、DVD	698	698	665	665
カセットテープ	55	55	56	56
CD	41	41	41	41
計	5,298	5,298	5,343	5,343

(2) 図書館利用等各種指数

区 分	H29年度		H28年度	
登録者数 (人)	町内①	21,780	町内①	21,487
	町外	12,416	町外	12,137
	計②	34,196	計②	33,624
貸出冊数 (冊)	個人③	180,335	個人③	184,953
	団体	1,251	団体	1,169
	計④	181,586	計④	186,122
町人口 (3月末)	⑤	25,602		25,648
貸出利用者数	⑥	37,360		38,555
貸出利用団体数	⑦	26		26
蔵書冊数	⑧	104,971		104,077
登録率 (町内在住者)	①/⑤ (%)	85.1		83.8
登録者1人あたり貸出冊数	③/②	5.3		5.5
登録者1人あたり貸出回数	⑥/②	1.1		1.1
1回当たり貸出冊数	③/⑥	4.8		4.8
蔵書回転率	④/⑧ (回)	1.7		1.8
予約件数	窓 口	3,336		3,999
	インターネット	1,783		1,443
レファレンスサービス (文献調査含む)		3,766		3,615
蔵書平均単価 (円)		1,994		1,991

(3) 年齢別登録者数 (単位: 人)

区分	H29年度			H28年度		
	男	女	計	男	女	計
0～6歳	136	123	259	145	138	283
7～9歳	265	302	567	259	320	579
10～12歳	337	400	737	347	400	747
13～15歳	402	458	860	436	466	902
児童計	1,140	1,283	2,423	1,187	1,324	2,511
16～18歳	502	501	1,003	498	522	1,020
19～22歳	669	726	1,395	690	753	1,443
23～29歳	1,503	1,801	3,304	1,561	1,881	3,442
30～39歳	3,074	4,166	7,240	3,073	4,204	7,277
40～49歳	1,825	3,953	5,778	1,648	3,814	5,462
50～59歳	1,299	3,173	4,472	1,318	3,063	4,381
60～69歳	1,916	2,948	4,864	1,973	2,890	4,863
70歳以上	1,859	1,858	3,717	1,622	1,603	3,225
一般計	12,647	19,126	31,773	12,383	18,730	31,113
合計	13,787	20,409	34,196	13,570	20,054	33,624
構成比 (%)	40.3	59.7	100	40.4	59.6	100

(4) 年齢別個人利用状況 (単位: 冊)

区分	H29年度			H28年度		
	男	女	計	男	女	計
0～6歳	8,085	6,210	14,295	8,520	6,478	14,998
7～9歳	7,376	11,503	18,879	6,576	11,675	18,251
10～12歳	2,920	6,925	9,845	2,838	6,906	9,744
13～15歳	1,467	1,261	2,728	1,566	1,228	2,794
児童計	19,848	25,899	45,747	19,500	26,287	45,787
16～18歳	752	520	1,272	570	559	1,129
19～22歳	330	600	930	304	623	927
23～29歳	450	2,881	3,331	226	2,532	2,758
30～39歳	4,375	24,699	29,074	4,837	28,043	32,880
40～49歳	5,929	23,649	29,578	6,168	23,825	29,993
50～59歳	4,035	9,874	13,909	4,335	11,576	15,911
60～69歳	14,734	19,361	34,095	16,671	19,232	35,903
70歳以上	16,066	6,333	22,399	14,341	5,324	19,665
一般計	46,671	87,917	134,588	47,452	91,714	139,166
合計	66,519	113,816	180,335	66,952	118,001	184,953
構成比 (%)	36.9	63.1	100	36.2	63.8	100

(5) 相互貸借 (単位: 冊)

区分		H29年度	H28年度
貸出	県内図書館へ	591	509
	県外図書館へ	2	7
	計	593	516
借受	県内図書館から	192	194
	県外図書館から	2	7
	計	194	201

(6) 除籍状況 (単位: 冊)

区分	H29年度	H28年度
リサイクル会等	4,167	3,980
不明図書・雑誌	0	13
紛失・損傷図書	11	15
ビデオ、DVD	4	2
計	4,182	4,010

(7) 図書館行事

行事名	開催日	参加人数 (人)
読み聞かせ会	毎月第2土・第4土	子ども316人、大人159人
不用図書リサイクル会	7月1日、2日	453人 (2,005冊)
児童向け人形劇	11月4日	子ども68人、大人45人
ひばりおはなし会(町制50周年)	3月17日	子ども65人、大人575人